

大正七年八月十九日第三種郵便物認可
 (每月一回二十日發行)
 大正八年六月二十日發行

THE MONTHLY REPORT

OF

SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

JUNE 1919 No. 18.

大 正 八 年 六 月

青 島 實 業 協 會

月 報

第 十 八 號

△本號要目▽

△統	△倫	△法	△青	△內	△主	△金	△海	△貿	△資	△協
敦	銀	塊	相	島	外	要	運	及	鐵	會
				雜	經	濟				錄
				要	品	商				
計	場	規	錄	報	況	融	道	易	料	事

▽青島實業協會月報 第拾八號 目次△

協會錄事

□臨時會.....	一
□夏秋、永井氏送別會.....	一
□六月例會.....	一

資料

□支那外國貿易概況(大正七年).....	二
□上海貿易概況(大正七年).....	六

貿易

□青島貿易近況(四月中).....	八
□主要輸出入貨物情勢(四月中).....	九

海運及鐵道

□青島最近出入船舶(四月中).....	一〇
□青島內地間運賃引締.....	一〇
□歐行運賃緊張.....	一〇
□近海運賃保合.....	一一
□內地備船近況.....	一一
□三驛發著主要貨物情勢(五月中).....	一一
□津浦線濟南驛發著貨物.....	一二
□青島港出入汽船細別表(四月中).....	一二
□青島三驛發著主要貨物驛別表.....	一八
□青島三驛發著主要貨物月別表.....	一九

金融

□銀塊並に爲替相場(五月中).....	二一
---------------------	----

主要貿易品概況 (五月中)

□綿絲布	□砂糖	□燐寸	□米	□石油	□材木	□紙類	□紙卷煙草	□花生實	□花生油	□豆油	□綿花
------	-----	-----	----	-----	-----	-----	-------	------	------	-----	-----

□石炭 □コークス □麥稈眞田 □牛皮 □牛肉 □小麥 □鹽

内外經濟要報

□支那紡績的發展 二五
□鹽賣渡價格改正 二七
□新關稅の影響 二八
□支那醬油研究 二九
□印綿資金の調節策 二九
□銀行新聯盟成立 三〇

青島雜錄

□灣鹽の輸出高 □開治輸出冷肉 □坊子の搾油事業 □沿線出炭狀況 □給炭方針變更 □鹽田開設著手 □麥稈眞田有望 □製函雷給狀況 □商業中心移動 □化學工業所擴張 □工場地の整地 □日華興業成立 □山東殖產成立 □青島銀行株式 □土木部一期豫算 □四月中屠獸數 □遊内山燈臺試點 □青島模製作製 □商標法管内準用 □獨人財産調査 □獨代表者召喚 □遣歐苦力分布觀 □青島燐寸開業披露宴 □橫濱正金支店新築披露宴

法規

□土地貸下規則中改正 三六
□對敵取引禁止規則中改正 三七

倫敦銀塊相場

□五月中表示 三七

寄贈書類

□四月及五月中到著の分 三七

統計表類

□輸入外國品仕出地別 □輸出支那品仕向地別 □輸入支那品仕出地別 □青島三驛發著主要貨物 □埠頭陸上貨物仕出地別 □埠頭船積貨物仕向地別 □汽船仕向地別 □汽船仕出地別 □入港汽船揚荷噸數 □出港汽船積荷噸數 □青島港出入船舶旅客 □市内三驛乘降客 □青島屠獸場屠殺數 □青島物價表

青島實業協會月報 第拾八號

協會錄事

臨時會

協會組織變更に關する件を主題とせる臨時會は五月三十一日午後一時市民會内に於て開會することとなり當日定刻に後ること一時間即ち午後二時開會、出席者左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行支店

吉澤洋行

中村組支店

東亞煙草會社販賣所

鈴木商店出張所

山田出張所

東和公司支店

原田汽船會社支店

三菱商事出張員

安部幸商店出張店

朝鮮銀行支店

伊藤忠商事會社支店

三井物產會社出張所

大連汽船會社出張所

茂木合名會社出張所

日本郵船會社出張事務所

湯淺貿易會社出張所

峯村洋行

福昌公司出張所

神戸棧橋會社派出所

岩城商會支店

青島製粉會社支店

新利洋行

大日本麥酒會社出張所

内外綿會社出張所

南昌洋行出張所

山東運輸株式會社

日華協信公司支店

以上二十八名にして幹事内外綿會社(佐々木國藏氏)より新入會者日華協信公司代表者藤波茂時氏を紹介し直に臨時會開會の趣旨を述べ次で協會組織變更に關し提出者たる大日本麥酒會社

(永井熙八氏)より本件提出の理由を詳述したる後各員間所論區々に分れたるも結局現在の協會組織に變更を加へ協會内部に各部を設け相連絡を執り益々協會存立の本義を盡くすことに各員一致し同時に月番幹事及永井氏等は軍當局に内談することとし本件を議了、次で日貨抵制に關し濟南實業協會より照會し來りたる件に就ては幹事に於て適宜回答方取計ひ置くことに決定午後四時散會せり

夏秋、永井兩氏送別會

元青島守備軍民政部總務部長夏秋十郎氏及び協會員大日本麥酒會社出張所代表者永井熙八氏の兩氏は今回夫々他に榮轉され不日出發さるゝに就き市民會と共に之が送別會を開くこととなり五月三十一日午後七時グランドホテルに於て開會、主客實に百餘名、近澤武男氏發起者側を代表して送別の辭を次で夏秋氏永井氏共に交々起て謝辭を述べ盛會裡に午後九時散會せり

六月例會

六月例會は豫定の如く十日午後六時グランドホテルに於て開會、出席員左の如し(順序不定)

橫濱正金銀行支店

吉澤洋行

中村組支店

東亞煙草販賣所

鈴木商店出張所

山田出張所

原田汽船會社支店

三菱商事出張員

安部幸商店出張店

朝鮮銀行支店

江商會社支店

伊藤忠商事支店

三井物產會社出張所	山東興業株式會社
大連汽船會社出張所	南滿洲鐵道株式會社
茂木合名會社出張所	日本郵船出張事務所
湯淺貿易會社出張所	和盛公司
峯村洋行	福昌公司出張所
東洋鹽業會社支店	神戸棧橋派出所
岩城商會支店	大倉商事出張所
青島製粉會社支店	泰利商會
新利洋行	大日本麥酒出張所
内外綿會社出張所	南昌洋行出張所
山東運輸株式會社	日華協信公司支店

以上三十四名にして午後六時半食卓に就き談笑の裡に晚餐を終る

午後七時開議、主題たる協會組織變更の件に入るに先ち幹事(内外綿會社代表者佐々木國藏氏)より山東運輸株式會社代表者神谷武松氏を滿場に紹介し、飯塚重五郎氏は海水浴場委員會に於ける今夏同浴場使用方に就き特に報告し、次で幹事は

本夕議する所の組織變更問題は事頗る重大に付き特に議長を選び發言は總て議長の許可を得たる後爲すことに致し度しと計りて滿場の同意あり且つ佐々木氏議長に推さる、之より佐々木氏は過日臨時會に於て決定されたる永井熙八氏及び幹事(近澤武男、佐々木國藏兩氏)の民政部要路訪問の顛末を詳細に報告する所あり、直に本件討議に入りたるが各員間所論區々に分れたるも採決の結果原案たる新規則に就き逐條審議することに多數を以て決定し草案規則逐條議事に移る、斯て各條逐一慎重に研究審議したる結果第五條部署別の修正及び第六條第七條第

十八條第二十一條第二十九條等の修正第三十一條第三十二條第四十條第四十七條第四十九條第五十條の削除を行ひ他は字句の修正を委任し本案を可決せり即ち協會組織變更に關しては過日臨時會に於て之を變更することに一致したるが其の之を如何に變更するやの根本たる本案は此の夜審議實に四時間餘に及び始めて議決されたるなり午下正に十二時に近し、されど議事繼續に就て多數の賛成ありたるを以て議長は之より新規則に伴ひ直に會頭及び副會頭の選舉を行ふ旨宣告、無起名投票を執行せしが其の結果最高點を以て左記の如く當選せり

會頭 太田保一郎
副會頭 飯塚重五郎

太田會頭及び飯塚副會頭より就任の挨拶あり之にて議事を終り散會したるは午後十二時なりき

資料

支那外國貿易概況 (大正七年)

貿易額。

大正七年度の支那對外國貿易額(一旦輸入せられたる外國品の外國再輸出額二千二百七十五萬七百二十一兩を除く以下做之)は輸入五億五千四百八十九萬三千八百八十二兩(海關兩以下做之)輸出四億八千五百八十八萬三千三十一兩、輸出入總計十億四千七百六十六萬三千三百一十三兩なり

右計數を前年即ち大正六年分に對比するときは輸入に於て五百三十七萬四千三百八兩、輸出に於て二千二百九十五萬四千四百一兩を増加し輸出入總額に於て二千八百三十二萬五千七百九兩

の増額を見たり更に遡りて之を既往數年間の計數に對比するときは輸入額は戰前大正二、三年の兩年に比し少許の減退を示せるも輸出額及總額に於ては孰れも空前の好成績を收め得たり而して支那の對外貿易は毎年著しき輸入超過を示し來りしが歐洲戰亂の影響を受け戰時工業原料品の外國に輸出せらるゝもの激增したるため漸次輸入超過額を減じたるも大正七年は前年に比し千六百萬兩を減じながら尙ほ約七千萬兩の輸入超過を見たり左に最近十年間の支那對外貿易額を掲げ其盛衰を詳示せん

○支那對外貿易額最近十年對照表(單位海關兩)

年次	總輸入額	輸出額	輸出入總額	輸入超過額
一九〇九年	四一八、二五八、〇六七	三三八、九三六、八二四	七七、五二一、二三八	九、一九五、三三三
一九一〇年	四六三、九六四、八九四	三八〇、八三三、三三八	八四三、七九八、三三三	八、一三一、三六六
一九一一年	四七一、五三九、四四三	三七七、三六六、二六六	八四八、九〇五、七〇九	九、四二一、五七七
一九一二年	四七三、〇七三、〇三二	三七〇、五〇三、〇三三	八四三、五七六、〇六五	一〇、三五六、六六六
一九一三年	五七〇、一六二、五五七	四〇三、〇五五、四四六	九七三、二一八、〇〇三	一六、八七〇、一〇二
一九一四年	五九六、三四一、三六二	三五六、三六六、三六九	九五二、四〇六、〇一一	二二、〇一四、七五三
一九一五年	四五四、四七五、七一九	四一八、六二一、二六四	八七三、三六六、八三三	三、五六一、五五五
一九一六年	五二六、四〇六、九九五	四八一、七五七、六六六	九八八、〇六四、六六一	三、四六〇、九六元
一九一七年	五四九、五八七、四四	四六三、九三三、三三〇	一〇一三、五二〇、四四四	六、八六二、二四四
一九一八年	五四四、九三〇、八二二	四八五、八六八、〇三二	一〇三〇、七九八、八五四	九、〇一〇、〇三一

通商國

支那對外貿易上に於ける列國の地位は大正六年に於ては日本、香港、米國、英吉利、露西亞、英領印度、佛蘭西、朝鮮、海峽殖民地、加奈陀等の順序なりしが大正七年は日本、香港、米國、英吉利、佛蘭西、朝鮮、海峽殖民地、加奈陀、英領印度の順序となり日、香港、米、英は動かざるところなれども前年第五位を占めたる露西亞は國內動亂のため其對支貿易額三分の一に減じ第七位に下り

英領印度亦半減の不況を見前年の第六位より第九位に下れり
今大正七年支那對外貿易額國別表を示せば左の如し

○支那對外貿易額國別表(單位海關兩)

國名	輸入	輸出	計
日本(朝鮮を含む)	三三、六六八、九二一	一〇、五七三、八二一	三、七四四、〇七〇
香港	一五、六〇三、四八六	二五、八四二、四九四	二、七四四、五三四
米國(菲律賓を含む)	六、九〇七、七七七	九、四七六、三三九	一、五七四、七〇六
英吉利	五、九八九、二五五	二、六〇八、九七九	七、〇七八、八四四
佛蘭西	二、三〇九、二六〇	二、五五五、〇七九	二、七八四、五三九
朝鮮	二、八四三、〇〇六	八、五一一、八三四	一〇、三六四、八四〇
露西亞	二、二二七、七三三	四、九七五、〇六六	六、六〇二、八〇一
海峽殖民地	六、八七七、七九三	六、六七四、八五三	一、三三三、六四四
加奈陀	九、〇九四、四七七	二、六六六、五三三	一、七〇八、八六九
英領印度	三、九八八、二八四	六、九八五、三三七	三、九八五、三七一
蘭領東印度	四、五五一、六四一	一、七二七、七八六	六、三三九、四二九
伊太利	四、六九九、九二九	三、九〇五、八四四	四、七三三、八三三
比律賓	四、六五四、〇九二	四、九三九、四四九	九、五九三、五六一
佛領印度支那	一、七〇六、六七九	一、五〇六、二五五	三、二一三、九三四
土耳其、埃及、波斯等	二、四六二、九七六	一、六二二、九八四	四、〇八五、九六〇
暹羅	一、〇七二、七七	一、三三三、五三〇	一、四〇五、三〇七
漳州(新西蘭を含む)	五、五八三、五五三	二、三六六、〇七九	二、九九九、九三二
丁抹	五、八二二、〇五五	一、〇二七、七三〇	一、六二五、七五五
南米諸國	六、七四三、四四	一、六七八、八三三	一、七四六、二四六
南阿弗利加	一一	四、四五三	四、四五三
西班牙	一、五八五、九	四、四九一	五、七七三
瑞典	二、一三〇	一、九二九	二、二四〇
瑞典	六、六三	三、九六五	四、三三七
和蘭	三、四〇、二三	一、六〇	三、四二七、九三
諾威	三、六五	二、六三六	五、九八一
威	二、四七、五五	九、八三	二、七六二

墨西哥及中米諸國	三六六八	五七六	四八六六
白耳義	七九七	—	七五九七
獨逸	一〇五	—	一〇三五
總輸出額	五七、三二、三九	四二、九三、六〇	一、〇〇、三二、九六
再輸出額	二七、六三、五五	—	二七、六三、五五
差引純輸出入額	五九、五八、七四	四六、九三、六〇	一、〇二、四〇、四四
國名	大正七年	計	
日本(臺灣を含む) (朝鮮を除く)	二三八、八五、七八	一六三、三九、〇九	四〇、二五、二六
香港	一六、一九、一八	二六、八八、〇二	二九、九八、八七
米國(菲律賓を含む) (津波を除く)	五八、六八、〇四	七、一三、四〇	三五、八〇、二四
英吉利	四九、九〇、二三	二五、三六、九八	七五、一四、八二
佛蘭西	一、八八、八八	三〇、四九、六七	三〇、三六、五五
朝鮮	一〇、四七、二三	一三、六八、四〇	二四、一四、三三
露西亞	六、三六、七八	一四、六〇、三九	二〇、九二、〇七
海峽殖民地	一〇、三二、五四	六、四〇、五三	六、七三、〇六
加奈陀	一〇、三五、六二	四、一〇、六一	一四、四六、二七
英領印度	七九、八八、九六	六〇、七八、九二	一四、〇二、七八
蘭領東印度	八、四四、八七	二、九二、〇六	一一、一五、九三
伊太利	三、六六、七四	九、六三、四七	九、九二、四四
比律賓	四、八四、九三	四、五七、七六	八、八二、七九
佛領印度支那	二、七九、二八	二、一五、三七	五、四六、七一
土耳其、埃及、波斯等	三、八〇、六三	三、〇四、八五	三、四二、九一
暹羅	三、五五、〇〇	一、九七、二〇	二、三六、七五
澳洲(新西蘭を含む)	九、六六、四五	一、三〇、九一	二、二九、四六
丁抹	一九二	五九、五二	五九、六七
南米諸國	一五	二〇、五八	二〇、二〇
南阿弗利加	七、四六	二、七八	二、五三
西班牙	二、六〇	一、八四	三、〇六

瑞典	二、六六三	三、七〇〇
瑞典	九、八八八	九、八八八
和蘭	一、二一〇	一、二四四
諾威	八	二〇一
墨西哥及中米諸國	四六	九三
白耳義	—	—
獨逸	—	—
總輸出額	五七、六四、八〇	四八、八八、〇三
再輸出額	三、七〇、七二	三、七〇、七二
差引純輸出入額	五四、九四、〇八	四五、一七、三一

大正四年以前に於ては香港常に第一位を占め日本第二位に在りしが大正五年以降日本は香港の地位を襲ひて第一位に進み爾來毎年其地位を持続し來りたるのみならず其貿易額は遙に香港を抜き大正七年の如き香港の二億七千九百萬兩に比し四億二百萬兩の好成績を挙げ米國の約三倍、英吉利の五倍以上に達せり日支間の貿易は輸出入共に堅實なる發達を示しつつあるも支那より日本への輸出は殊に著しく増進し前年に比し約五割を増加せり

次に各貿易對手國に就き其貿易高の前年分に比し増加したるものと減退したるものとを分て之を列舉すれば左の如し

(イ) 増加したる國 日本、香港、佛蘭西、海峽殖民地、加奈陀、朝鮮、蘭領東印度、伊太利、比律賓、佛領印度支那、土耳其、埃及、濠州、南米、南阿弗利加、瑞西

(ロ) 減少したる國 米國、英吉利、露西亞、英領印度、澳門、暹羅、丁抹、西班牙、瑞典、和蘭、諾威、墨西哥及中米、白耳義、獨逸

主なる列國の貿易額を大正七年と前年大正六年分とを對比し

其増減額を示せば左の如し(單位海關兩)

國別	輸入額	輸出額	輸出入總額
日本	(+) 一七九、一六七	(-) 五七、六二〇・七三	(+) 一、二一、五八二・九〇
香港	(+) 三、五九三・六	(+) 一、一四三・七五	(+) 四、七三六・三五
米國	(-) 二、七四七・三	(-) 一、七六三・三〇四	(-) 四、五一〇・六〇
英吉利	(-) 二、〇九八・四三	(-) 八五二・七五	(-) 二、九五一・一八
佛蘭西	(-) 七、〇三二	(+) 四、九三三・九六	(-) 二、〇九八・四三
露西亞	(-) 四、八六〇・七	(-) 三、四七二・七	(-) 八、三三三・四
海峽殖民地	(+) 三、四七五・三	(-) 二、四三三・〇	(+) 一、〇四二・三
加奈陀	(+) 一、三三二・五	(+) 一、四九〇・九三	(+) 二、八二三・四
英領印度	(-) 一、九〇〇・六六	(-) 九三、四九五	(-) 一、九九四・一一

備考 (十)印は増加 (一)印は減少を示す

次に主なる列國の對支貿易額の支那對外總貿易額に對する割合を示し大正五、六年と比較するときは左の如し

國別	大正五年	大正六年	大正七年
日本	二・七四	三・二三	三・八七
香港	二・七三	二・七一	二・六八
米國	一・二六	一・五三	一・三五
英吉利	一・〇六	〇・七七	〇・七二
露西亞	〇・九二	〇・六〇	〇・二〇
英領印度	〇・三九	〇・三四	〇・一三
佛蘭西	〇・三〇	〇・二七	〇・三八

日本は毎年五分内外の増進を續けつゝあるも其他英米諸國は大體に於て舊態に在るか又は減少しつゝあるは戰亂の餘惠とは謂へ本邦の對支貿易上最も欣快とするところなり

日本は支那對外貿易額の三割八分七厘を占め甚大の勢力を振ひつゝありと雖も若し英吉利及香港の外に其他の英殖民地屬地を合算するときは日本は果して全英國に優るを得るや否や、試みに左に計上すれば左の如くにして遂に英帝國全體を凌駕するに

至れるを見るべし(單位海關兩)

英本國	七五、一五四・八八二	南阿弗利加	一二五・三二二
香港	二七九、一七九・八三七	計	四〇一、九七七・五六八
印度	一四、〇二六・七八八	日本	四〇二、二五五・六七〇
海峽殖民地	一六、七三二・〇六六	朝鮮	二四、一四二・六二三
加奈陀	一四、四六一・一七七	計	四二六、三九五・二九三
露西亞	二、二九七・四九六		

支那對外總貿易額に對する比例を見るに全英國は大正六年三割七一大正七年三割七八、日本朝鮮合計は大正六年に三割三四大正七年四割〇九なり

貿易港

支那の外國貿易に於ける各港の地位は上海を第一とし大連、廣東、天津、漢口、九龍、安東、膠州、汕頭、蒙自、梧州、拱北、綏芬河、芝罘等之に次ぐ此等主要港の貿易額を擧ぐれば左の如し(單位海關兩)

港名	輸入額	輸出額	計
上海	三、四九七・九〇七	三、〇二九・八四三	六、五二七・七五〇
大連	六、九七六・六六	六、九七六・六六	一三、九五三・三二
廣東	二、八二五・五五	五、〇四六・四四	七、八七二・九九
天津	五、三七八・三三	三、六八三・七一	九、〇七一・〇四
漢口	三、九七四・八九三	一、〇五八・四〇七	五、〇三二・三〇〇
九龍	三、三九二・二九	四、二八五・九五	七、六七七・五四
安東	二、八八四・八四	二、七七二・四七	五、六五七・三一
膠州	二、六九七・七六	一、五四八・三三	四、二四六・〇九
汕頭	一、三六四・五三	八、九七五・七四	一〇、三四〇・二七
蒙自	九、〇三六・九〇	二、一八九・八八	一〇、二三六・七八
梧州	九、〇三六・九〇	五、七三三・五四	一四、七七〇・三四
拱北	八、三三六・三二	四、八二〇・五三	一三、一五六・八五
綏芬河	三、七三六・九三	七、四七五・九七	一一、二一三・九〇
芝罘	六、三六六・五二	四、六二二・七一	一〇、九八八・二三

前年に於ては上海、大連、廣東、天津、漢口、九龍、安東、膠州、綏芬河、汕頭の順序なりしが大正七年に於ても上海乃至膠州の各港即ち主要港には移動なく綏芬河、汕頭以下多少の移動ありたるに過ぎず(上海有吉總領事報告、官報所載)

上海貿易概況 (大正七年)

輸出。大正七年上海對外國貿易は輸入二億千四百九拾六萬七千九百七兩(海關兩以下倣之)輸出貳億百貳拾九萬八百四拾參兩輸出總額四億千六百貳拾五萬八千七百五拾兩にして支那對外國貿易額(外國品の再輸出額を加へたる輸出入總額)の三割九分一厘四を占む

右計數を前年に對比するときは輸入に於て四百八拾八萬千九百拾七兩輸出に於て參百九十參萬六千八百八拾四兩總額に於て八百八拾壹萬八千百壹兩即ち二分一厘六毛の増加を見たりと雖も戰前大正二年及前々年大正五年に比し夫々五百萬及四百七拾萬兩を減少せるも其他の各年に比し相當の増進を示せること左表の示すが如し

上海貿易額九年比較表 (單位海關兩)

年次	輸 入	輸 出	計
一九一〇年	一九八八五八〇四	一七五九六二二六	三五四八二〇三〇
一九一一年	二七、三七七、七	一〇、四二〇、〇五九	三七、七九七、七
一九一二年	二二〇〇七、八三七	一六五五五、〇	三、五五五、〇三七
一九一三年	二四四四、四二二	一七六八六、四一五	四二、三三〇、八
一九一四年	三三八五九、五八四	一四七六九、二〇九	五三、六二八、七
一九一五年	一九八二四、三八四	二〇、四三七、七〇	四〇、九六三、二
一九一六年	二〇、四三七、七〇	二二、三九六、八〇	四二、九七〇、五
一九一七年	二二〇〇八、九七〇	一七、五五五、六九	四〇、七四〇、六

一九一八年 三四九七、九〇七 三〇、二九〇、八三三 四六、二五八、七〇五
開港以來打續き輸入超過を持續し來りし上海港の外國貿易は歐洲戰亂の勃發と共に輸出激增のため大正四、五の兩年は輸出超過の好況を示せるも大正六年以降輸入増加に反し輸出減退のため再び逆轉して輸入超過を見るに至れり

上海對外國貿易額の順位と其國別比較

上海對外國貿易額に於て第一位を占むるは日本にして米國第二位を占め英吉利、香港、佛蘭西、加奈陀、伊太利、海峽殖民地、英領印度等之に次ぐ大正四年に於ては英、米、日の順序なりしが翌五年には英、米其地位を顛倒して米、英、日となり六年には日本躍進して英國の第二位を襲ひしのみならず米國との差僅かに貳百萬兩に過ぎず將に其壘を摩せんとするの氣勢を示せしが大正七年には豫期に反せず日本第一位に進み米國との差實に五千五百萬兩に達せるは近來の快欣事にして是れ上海對日貿易は輸出入共に尠からざる増加をなせしに反し對米貿易は輸出入殊に輸出に於て半減以上の不況を示せるに職由するものとす素と米國が大正五、六年に於て第一位を占めたるは歐洲戰亂のため戰時工業原料の米國に供給せられしもの著しく増加したるに因る一時的現象に過ぎず日本の第一位に進みしは戰亂の餘惠とは謂へ當然なるべきところなりと思惟す

其他の諸國に就ては大正六年には香港第四位を占め英領印度、佛蘭西、加奈陀、露西亞、海峽殖民地、伊太利等之に次ぐの順序なりしが大正七年は香港猶第四位を占めたるも英領印度は貿易額三分の一に減じ第九位に下り前年の第六位にありし佛蘭西第五位を襲ひ露西亞は貿易額半減して第八位より第十一位に下れり前年に比し増減したるものを擧ぐれば左の如し

増加したるもの。日本、英吉利、香港、佛蘭西、加奈陀、伊太利、海峽殖民地、蘭領東印度、土耳其、比律賓、濠洲、暹羅、朝鮮、南米、南阿、減少したるもの。米國、英領印度、露西亞、丁抹、西班牙、瑞典、諾威、墨西哥

次に上海對諸外國貿易額を國別とし前年と比較して示すこと左の如し

○上海對外貿易額國別前年比較表(單位海關兩)

國別	輸入額	輸出額	計
日本(臺灣を除く)	七三、七四四、〇八	三三、一九七、四七	一〇五、八四一、五五
米國(菲律賓を除く)	三三、〇七六、二八	七五、八七一、〇四	一〇七、九四七、三二
英吉利	四、七三三、三三	二〇、七二一、六四	二五、四五四、九七
香港	一九、〇八、八三	一五、七三三、〇七	三四、八二、九〇
佛蘭西	一七、六六六、三	二五、〇六二、五九	四二、七二八、九二
加奈陀	六、〇四一、三七	二六、七七四、四七	三二、八一六、八四
伊太利	四、一〇四、五	三、九〇五、三五	八、〇一〇、〇〇
海峽殖民地	五、一九六、九〇	一九、九三六、七	二五、一三三、五七
英領印度	二二、三八六、四	五、九七六、七九	二八、三六三、二三
蘭領東印度	一、九〇八、六	六、六三〇、七四	八、五三九、三四
露西亞	二、五九六、六	七、九七四、四〇	一〇、五七〇、〇六
土耳其、埃及、波斯等	三、五五九	一、三三三、二	四、八九二、二
比律賓	一、〇七四、〇六	二、六四四、二七	三、七一八、三三
朝鮮	九、三三三、一	八、四九九、九	一七、八三三、〇
濠洲及新西蘭	五、四三三、九	三、六四四、四	九、〇七八、三
佛領印度支那	一、五五二、一	二、〇六九	三、六二一、二
丁抹	四、三五四、七	五、二六七	九、六一二、四
暹羅	—	八、八八〇	八、八八〇
南米諸國	—	八、四九〇	八、四九〇
南阿弗利加	一、五八四、六	二、七六九	四、三五三、五

國別	輸入額	輸出額	計
西班牙	二、三〇	一九、三七七	二、四〇七
瑞典	六、三	—	六、三
瑞典	三〇、二四九	一、六〇	三〇、三九
和蘭	三、四六	二、六三六	六、一〇
澳門	—	九三	九三
諾威	二、四二四、二	九、八〇八	一二、二三二、四
墨西哥及中美	—	五、一五〇	五、一五〇
其	一〇、三三三	三〇、八六九	四一、二〇二
合計	二〇〇、八五九、〇	一九七、五五九、九	三九八、四一八、九
日本(臺灣を除く)	八、九五〇、二七六	五、九〇八、二四三	一三、八五八、五一九
米國(菲律賓を除く)	三三、六五四、七三	四七、七四九、〇四	八一、四〇三、七七
英吉利	四、六一二、九五	二、四八二、三五	六、一〇四、三〇
香港	二、八九九、八	一、五九〇、七〇三	四、四九〇、五〇三
佛蘭西	一、三五一、二三	三〇、一七五、四九	三一、五二六、七二
加奈陀	七、七〇六、五	四、〇四九、九五〇	一一、七五六、四五
伊太利	三、四二六、七	九、六三四、七四	一三、〇六一、四一
海峽殖民地	六、五九六、七	二、四七一、六二六	九、〇六八、三三
英領印度	四、八三〇、三	四、七三五、四三	九、五八五、七六
蘭領東印度	五、一六五、八七	一、〇四六、三四七	六、二一二、二二四
露西亞	七、〇七七、三	三、四四一、二三	一〇、五一八、五六
土耳其、埃及、波斯等	二、九一九、七	三、〇三九、四五一	六、〇五九、一四八
比律賓	二、一九九、九	六、三四六、四	八、五六六、四三
朝鮮	一、五五二、九	一、七五二、一三	三、三〇五、四二
濠洲及新西蘭	七、四三三、九	二、四七九、七	九、九一三、六六
佛領印度支那	九、九〇、一	四、四三三、三	一四、三三四、四
丁抹	一、〇	二、三七、一四	二、三七、一四
暹羅	—	一、四九三、四四	一、四九三、四四
南米諸國	—	二、五九六、五	二、五九六、五
南阿弗利加	六、七二	四、四六四	一一、一八六

西班牙	一八四	一七九八	一八八
瑞典	一三六三		一三六三
瑞西	九八八		九八八
和蘭	九七八	三〇	一〇八
澳門		三〇	三〇
諾威		九三	九三
墨西哥及中米	三五六七	一二	三
其他	三五六七		三五六七
合計	三二四九七九七	二〇一五八四三	四六二五八七〇

○上海對外貿易上に於ける主要國貿易力

上海對諸外國貿易狀況は前記の如くなるが尙ほ上海對外總貿易額に對する各國の貿易力を見るに左記の如くにして日本約三分一米英合算三分一其他の諸外國合計三分一の割合たるを知るべし

國別	大正六年	大正七年	國別	大正六年	大正七年
日本	二・六〇	三・二〇	伊太利	〇・一〇	〇・二四
米國	二・六五	一・九五	海峽殖民地	〇・一七	〇・二二
英吉利	一・六五	一・六〇	英領印度	〇・六七	〇・二一
香港	〇・八五	〇・九一	露西亞	〇・二〇	〇・一〇
佛蘭西	〇・六六	〇・七六	其他	〇・二四	〇・五三
加奈陀	〇・二一	〇・二八			

○出入船舶 大正七年上海港出入船舶(帆船を除く)は一萬二千五百三十一隻其噸數千三百九十三萬九千八百三十三噸にして前年に比し隻數に於て二百四十二隻増加せるも噸數に於て百四十三萬七千八百八十噸を減少したり是れ歐洲戰亂開始以來の趨勢にして未だ全く平和の恢復せざる今日誠に已むを得ざるところなりとす

大正七年中上海港出入船舶を國籍別に分ち前年と對比して示

せば左の如し

○上海港出入船舶國籍別前年比較表

國籍	大正六年	大正七年
英國	三三三	三九七
日本	三三三	三三六
支那	四三三	四二四
米國	四〇〇	四〇七
佛蘭西	四三	四〇二
和蘭	八七	二八六
諸威	七四	二二七
露西亞	二五	二二六
丁林	六七	九七〇
瑞典	二〇	二六九
伊太利	五	七三
合計	二二二九	一五三七〇

(上海帝國總領事有吉明報告)

貿易

青島貿易近況 (四月中)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は三萬三千八百三十五噸三にして船積(輸出)五萬三千九百二十五噸八を示し前月に比し輸入に於て一千餘噸輸出に於て二萬三千五百餘噸の激減を來せり

	四月中	三月中	比較
陸揚貨物	三三、八三五・三	三四、八九七・九	△
船積貨物	五三、九二五・八	七七、四九四・七	△
合計	八七、七六一・一	一一二、三	△

更に之を昨年同月分と比較するに輸入貨にありては三千三百餘噸輸出貨に在りては九千六百餘噸の増加を示せり

	本年四月中	昨年四月中	比較△ハ減
陸揚貨物	三三、八三五・三	三〇、五二六・四	三、三〇八・九
船積貨物	五三、九二五・八	四四、二七二・九	九、六五二・九
計	八七、七六一・一	七四、七九九・三	一二、九六一・八

主要輸出入貨物情勢 (四月中)

輸入貨物中昨年同期と比較し著しき減退を示せる砂糖は太古物下等品の市中在荷潤澤なりし爲め價格も伸縮み輸入を呼ぶに至らざりしに基因し煙草の増加は東亞、英米、南洋の各社が殆んど競争的に奥地販路の開拓に従事し著々其效を收め得たる結果なりとす、而して木材に在りては需要界の趨勢より察するに本年は昨年比し決して旺盛ならざるも建築界需要時期に入りたと小港近傍に於ける支那人の建築却々盛んにして之等は主として鴨綠江材及安東材を使用し居る爲め同材の輸入を見たるものにして其數量約四千噸に及べり其他北海道より輸入せる鐵道用枕木及建築材料等を合する時は六千六百餘噸の輸入を見前月に比し三千二百餘噸昨年比し二千八百餘噸の増加を示せり

輸出貨物に在りては淄川炭及コークスの著しき減退を除くの外全部順調に發展増加の傾向あり間々牛皮、豆油、桐材の減退なきに非ざるも其數量の上より見れば殆んど論するに足らず、而して落花生實及同油歐米の市況恢復と共に稍活氣を呈し來りしが其後引續き米國筋の大口注文を受けて商況一變各商店共一齊買進み尠なからざる輸出を見るに至れり、鹽は先月年度末を以て政府納鹽を打切りたるを以て本月は漸く一萬四百餘噸の輸出

を見るに止り前月に比すれば一萬一千五百噸の減退を示せるも昨年とは全然其事情を異にせるを以て尙四千二百四十一噸の増加を示し居れり、稻施肥期を前に控へ居れる爲豆粕の内地輸出は近來著しく其數量を増加せること別表の示すが如くなるが其大部分は神戸及横濱に仕向けらるゝものにして需要益々旺盛なるも品薄にして供給之に伴はざる状態に在り而して淄川炭は過般來同礦の出炭激減せる爲め其塊炭及洗小塊類は辛ふじて家用焚料を得るの狀態に在り自然粉炭も其輸出力を殺がるゝの止むを得ざるに至れり

△輸入品 △ハ減其他ハ増

品目	三月中	四月中	昨年 四月中	昨年と本年 との比較
白米	一〇二二	二八三	五七八	△ 四九五
麥粉	七六八	八五八	七〇〇	△ 六四三
白砂糖	六六六	五九九	七〇〇	△ 一三六〇
赤砂糖	一六五五	二四一	二八〇九	△ 二、五五〇
煙草	一、三六二	一、五八〇	九八三	△ 五九八
石油	五七二七五	二五七五	一、三八二	△ 一、五九一
石油	一七五四	一七三〇	一五七九	△ 一五九
燐寸	一七五四	一七三〇	一五七九	△ 一五九
綿絲	三、七四〇	三、〇八三	二、五二八	△ 五九〇
綿布	一、〇二六	一、〇九四	五九〇	△ 四七四
支那紙	一、七四二	一、〇九七	一、〇八八	△ 八二
金屬製品	六八〇三	八九九	五、〇四四	△ 三、五五
竹材	一、四三三	一、五三七	一、六二七	△ 八四〇
木材	三、四八八	六、六九三	三、八四六	△ 二、〇七七
燐寸材料	八六五	一、〇八三	三、四七	△ 七九六
洋物雜貨	六九四	五七七	四九〇九	△ 六八
△輸出品				
落花生實	三、五三六	七、一八五	三、七五〇	△ 三、四〇五
牛肉	九〇一	八八四	六三七	△ 二四七

鹽	三〇六四〇	一〇四九四	六八八〇	四二四四
葉煙草	四、五九三	二〇四三	二五七一	一七六二
落花生油	四八七六	四八三一	三〇九六〇	一七七一
棉花	四七一	六四一	六五三	一一
淄川炭	九四八五六	一〇〇五〇	二一四四〇	一〇四九〇
博山炭	六、〇〇〇	六、〇五〇	四八七〇三	一五四七
豆	三、〇三一	四、八九九	一、四八七	二八〇二
小麥	六、四九三	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇
コーラス	六、〇七〇	一七六一	六、〇九七	四三三六
牛皮	四九七三	三七九	三七六	九七七
豆油	一六一四	三四九	三七六	五七六
桐脂	三、五七	四六三	三四三六	八七
桐材	六、五五六	七、五六	八、三三	二六七
麥稈	三、四三九	五、七五	—	五、七五

海運及鐵道

青島最近出入船舶 (四月中)

本月中の入港船舶(汽船)は九十八隻此の登簿噸數七萬七千六百四十五噸出港百一隻七萬九千五百一十一噸にして入港卸荷三萬三千八百三十五噸三出港積荷五萬三千九百二十五噸八を示せり而して之を一月以降の累計に徴するに入港四百二十四隻三十五萬五千二百二十二噸出港四百二十六隻三十五萬一千三百六十二噸卸荷十二萬五千八百噸一積荷二十六萬二千七百七十四噸六合計三十八萬二千二百三十二噸七に達せり之を昨年三月分と比較すれば左の如し

入港	本年四月中	昨年四月中	比較
噸數	九八、七六四	七、六四〇	〇二六、〇一五、三六

出港 一〇一 九、五五〇 六、四一七、〇 三一 一、四九〇
 卸荷 三、八五三 三、〇五三、〇 三三〇八九
 積荷 五、九五六 四、五三三 八、七三六
 更に出港船舶の仕向地別を示せば日本内地三十三隻大連十四隻上海二十三隻芝罘一隻天津一隻其他の支那港十八隻釜山五隻仁川三隻マニラ一隻浦鹽一隻其他の外國一隻にして入港船舶の仕出地は日本内地三十三隻大連十四隻上海二十一隻芝罘二隻天津一隻其他の支那港十七隻釜山一隻仁川三隻香港三隻浦鹽一隻其他の外國二隻なりとす

青島内地間運賃引締

青島より内地向の運賃は近海運賃の強調を呈すると共に最近漸く強含みとなり遂に本月に入ると共に社外船從來青島横濱間六圓弱みなりし雜貨は一躍八圓五十錢内外に引締まり定期航の七圓五十錢を遙かに凌駕するに至れるが其原因は内地肥料需要季節に入り大連より神戸、横濱に仕向けらるゝ豆粕激増せる爲め從來三十五錢弱を唱へたる同運賃は一舉五十錢と暴騰せる一方歐洲行食料品荷動きに伴れ大型傭船界活氣付くと共に北海木材、樺太漁魚、營口豆粕を始め其他の積取りに二千噸級の近海船著しく拂底を告ぐるに至れる爲めなるが如し然れども前途夏枯季節を控へ居れるを以てこれ以上の伸張力無かるべく輸出期の経過と共に或は再び漸落歩調を辿るに至るべしと云ふ

歐行運賃緊張

遠洋方面は歐洲各國に於ける食糧品需要の度愈旺盛なるべきを氣構へに形勢漸く一變頗る緊張の傾向を示し内地倫敦雜貨百

五十志乃至百六十志同木材七十圓見當を唱へ居れるが東洋方面は依然沈靜狀態を脱せず濠洲内地小麥七十仙瓜哇内地砂糖九十仙九州新嘉坡石炭七圓五十錢香港桑港雜穀七八弗見當を保合居れり

近海運賃保合

内地方面に於ては最近歐米より澱粉、豆類及雜穀に對する引合入込み居りしもの頃來漸く荷動きを開始せるを以て從來郵船の配船せし七隻の定期船にて不足を感じ更に一隻の臨時船を配するの盛況を見たるも上海方面は銀價の昂騰と排日貨運動の爲め幾分の影響ありとするも我國より綿布、硝子、及諸雜貨の輸出を見復航も亦種子類穀等約七分通りの船腹あり天津方面は我國より燐寸、軸木、綿布、硝子及諸雜貨復航に牛骨、羊毛、棉花等相當出廻り定期船は何れも滿船なるが依然不振の狀態を脱せず

内地備船近況

備船界は去月佛國買備船引合により減切り活氣付き世界航路十五圓說を實現するに至りたるが其後上記買備船交渉も聲程に無く一方海外貿易不振の爲め各方面とも出荷思はしからずして再び活氣を失ひ大型遠洋九圓乃至九圓五十錢普通遠洋八圓近海小型八圓見當を彷徨せる狀態に在り而して其間稍變態と目すべきは小型船の備船率が中型船に接近し近頃更に之を凌駕せんとする氣勢を示せること之なり是蓋し海外貿易内地取引共一向振はす商内の小口取引となれる結果小型船の需要を喚起せるにあるが如し

三驛發著主要貨物情勢 (五月中)

本月中青島、大港、埠頭荷扱所の三驛に於ける主なる發著貨物を昨年同期と對照するに發送貨物中減退を示せるは高粱を第一とし麥粉、紙卷煙草、綿絲の四種に過ぎずして他は皆幾分の増加を示せるが就中砂糖、燐寸、雜貨、綿布の増加著しきものあり之等は過般來勃發せる排日學生の騷擾各地に波及し日貨排斥より日貨不買強制壓迫となり形勢日々險惡を極めたる爲めボイコット繼續中の手當買を爲せるに基因せること明なり到着貨物に在りては石炭、コークス、牛皮、葉煙草、桐材、牛の減退を見たるも小麥、落花生實、落花生油、豆油は著しき増加を現はせり即ちコークスは内地不況の影響を受け石炭は淄川出炭の減少に基因し葉煙草は奥地に於ける各社買收の終りにより桐材は銀高と内地市況不味を入れたる爲めにして牛は内地及マニラ輸出の一段落を告げたるによれり而して落花生油及豆油の増加は過般來歐米市況振はす商況萎縮せるもの近頃に至り漸く回復し注文殺到の盛況を呈せし爲めにして小麥は内地製粉の暴騰に伴れ製粉筋一齊買進みたる爲め如斯増加を見るに至れり

△發送品

品名	四月	五月	昨年五月	の比較△ハ減
高粱	四〇八	一五七	四六九	△
木材	四四六〇	五五五	四二七	△
鐵製	五二四	八四二	四六八	△
綿布	一三〇九二	一三六七三	一三二一五	△
綿絲	一七三九	一六三三〇	七六四三	△
石油	一三〇五七	一六六六	七九八	△
砂糖	一六五五	一八七二	九六七	△
雜貨	一六五五	一八七二	九六七	△

麥	粉	〇九	九四	五四七	五七三	△
燐寸材料	一六二	二七三	二三四	四三九	四三九	△
燐寸	四六〇	六六一	二〇八	四三三	四三三	△
紙卷煙草	二五二四	二〇一	二二一	二〇〇	二〇〇	△

△到著品

石炭	七七六八	五四四一〇	七八〇五五	一、六四四	△
コークス	三〇一九二	二二九三九	七九七四〇	五六〇一	△
石灰	一〇七五一	一五〇〇〇	四九八〇	一〇〇一〇	△
桐材	五三四五	六四七三	八六六七	二九四	△
木材	三三七	三九三	一九七三	二二〇	△
小麥	五七六一五	一〇七五九	—	一〇、七五九	△
米	九三三	三七六四	一五八	三六〇六	△
落花生實	六五二五七	四三九七〇	九五七三	三、四七八	△
花生油	四〇九六九	五六六七七	八四二五	四八五二	△
豆油	四九四六	一七九六九	四一六五	一、三三四	△
葉煙草	二五五	二五五	六〇	三七七	△
綿花	五六〇	五四八	一九七	三五二	△
牛皮	七二一	一五四	五六三	四〇九	△
牛皮	三六五七頭	一四二五頭	一九七四頭	五四九	△

津浦線濟南驛發著貨物

津浦鐵道濟南驛に於ける五月中發著貨物中主なるもの數量を

上げれば左の如し

△發送品

雜貨	一、八九〇	石油	八八〇	砂糖	六八五
麥粉	六二五	綿絲	一、五五五	燐寸	八八五
陶器	四六〇	紙	五一五	石炭	六一〇
煙草	三八五	棉花	六五五	磨炭	一、〇一五
白米	二、七二〇	麻	四四〇	生米	九七五
豆油	六三五	△到著品			
小麥	五五五	空罐	一、二一五	羊毛	二五五
洋貨	二八五	棉花	一、九四五	鷄卵	六七〇
茶	二、一五〇	鍋	六五〇	木材	三三五
豆油	二、〇八〇	セメント	五八〇	雜糧	二五五
生油	一、四八五	生米	一、〇一〇	麥粉	五一〇
煙草	五二〇	紙	七〇〇	白米	三、二四〇
麻	九七五	竹材	七四〇		

青島港出入船舶細別表

(大正八年四月中)

(空船ヲ除ク)

△入港之部

入港月日	國籍	船名	登簿噸數	揚荷噸數	揚荷主要貨物名	本仕出地
四月一日	日本	龍平丸	四三一・〇	三二三・一	石炭、木材、金屬品、其他雜貨	大連
四月二日	同	櫻城丸	五〇二・〇	四四六・九	燐寸材料、箱材、鐵機械、蓮類、其他	神戶
同	同	繪島丸	六六二・〇	九三八・九	燐寸、同材料、木材、鐵、食料品、其他	大阪
同	同	箱崎丸	五五一・〇	二〇〇・〇	綿絲布、燐寸、金屬品、雜貨、其他	同
同	同	蔚山丸	一、七二九・〇	七七六・七	砂糖、藥品、塗染料、鐵、食料品	香港

1111

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	仕向船
四月一日	日本	海州丸	七五〇	五〇〇	綿糸、卷煙草	石臼所
二日	日本	款州丸	一、二一六〇	四六〇・六	花生實、葉煙草、果實、其他	上海
三日	日本	益進丸	五五八〇	一、三〇〇〇	石炭	同
四日	日本	龍平丸	四三一〇	七五・七	綿糸、麥酒、牛肉	大連
五日	日本	第三福井丸	六八六〇	一、〇三九〇	花生實、小麥、牛皮、牛脂、豆粕、桐材	門司
六日	日本	鹿野丸	五八二〇	一、二〇〇〇	鹽	大坂
七日	日本	箱崎丸	五五一〇	九一八・四	豆粕、桐材、麥稈真田、花生實、牛肉、牛骨、花生油	釜山
八日	日本	全榮丸	二四三〇	五三〇〇	鹽	同
九日	日本	櫻城丸	五〇二〇	一、〇〇〇〇	鹽	同
十日	日本	繪島丸	六六二〇	一、〇五〇〇	鹽	同
十一日	日本	第十六共同丸	九一七〇	一三五・四	綿糸、棉花、紙類、麥酒、其他	大連
十二日	日本	臺北丸	一、五二二〇	一、二六九・九	小麥、花生實、牛肉、花生油、豆粕、麥稈真田	大坂
十三日	日本	江原丸	四二六〇	一八八・一	麥稈、花生實、果實、桐材	仁川
十四日	日本	神戶丸	一、五三六〇	一九〇・二	葉煙草、其他	上海
十五日	日本	チヨイサン號	一、四二四〇	五七八・五	花生實、果實、絹布	門司
十六日	日本	三進丸	五七六〇	一、三〇〇〇	鹽	同
十七日	日本	益進丸	五五八〇	三〇三・四	石炭、絹布	上海

△出港之部

出港月日	國籍	船名	登簿噸數	積荷噸數	積荷主要貨物名	仕向船
二十七日	和蘭	パレンバング號	一、一一九〇	二、三三三〇	石油	大坂
二十八日	日本	大裕丸	六二九〇	一、〇一・一	卷煙草、燐寸、同材料、木材、雜貨、陶磁器	海州
二十九日	支那	海州丸	七五〇	五七七・七	豆粕	大坂
三十日	支那	西京丸	一、五一一〇	一、〇七五・三	綿絲布、卷煙草、燐寸、日本酒、硝子品、金屬品、食料雜貨	海州
三十一日	支那	新飛雲號	七一〇	一七五・六	麥粉、油類、穀類	上海
三十二日	支那	廣西號	一、二二八〇	八〇六・六	支那紙、綿絲布、砂糖、鐵、食料品	基隆
三十三日	支那	基隆丸	九六二〇	二〇七・九	砂糖、竹材	上海
三十四日	支那	益進丸	五五八〇	一、〇〇七・八	卷煙草、綿絲、木材、硝子品、其他	大連
三十五日	支那	神戶丸	一、五三六〇	三二〇	箱材料、金屬品、其他	同
三十六日	支那	第十六共同丸	九一七〇	一六五・四	木、燐寸材料、日本紙、其他雜貨	同

[illegible]

[illegible]

同	同	同	同	同	同	同
神戶丸	西京丸	北洋丸	基隆丸	海州丸	日本	英國
三十日						
一、五三六・〇	一、五一一・〇	六〇二・〇	九六二・〇	七五〇	一二二八・〇	一三五・五
四二・二	一、三五八・八	一、二七一・〇	二三七・五	〇・三	綿布	花生實、絹布、硝子製品
耶製品、麥稈真田、綿布	花生實、鷄卵、花生油、牛皮、桐材、豆粕、真田	花生實、同油、豆粕	麥酒、葉煙草			
上海	大阪	神戸	天津	石臼所	上海	上海

青島三驛發著主要貨物驛別表

(單位噸以下一位)

△發送之部														
品目	年別	藍村	膠州	高密	嶗山	坊子	濰縣	青州	張店	博山	周村	濟南	其他	合計
高梁	同大正五年	二〇八五	—	五七五	一、四七九	一、三二四	四、五七四	六、六九	一、三八	四、六六	二、五〇	—	一、六四九八	六、〇五八
同	同六年	八、〇四	—	六三〇	六、八四三	二、一六五〇	二、八四九九	九、九一四三	四、七一	三、〇四九	九、八七三	四、四六五	二、四一二三	七、〇二五九
同	同七年	一、六〇	—	一九九四	九、七三三	七、三八六六	一、九七〇一	三、〇六六六	二、九六	四、〇〇三	一、二一〇	一、〇〇三	九、三八五一	二、七三三二
綿絲	同五年	三、五二	三、五三	四、四六四	九三	三、〇〇	一、二七八四	一、一七〇一	五、九六	八、六二	八、八九八	七、四二八九	二、八二五〇	一、五四三九
同	同六年	四、四八七	二、七三	四、四七八	一一、	八、七六	一、五二二七	七、三三四	〇、四	九、六二	一、二二九	七、〇九〇	一、六二二〇	一、三九四二
同	同七年	四、四六三	四、四八	七、二八	四、四六	六、六五	二、五三九二	七、〇四〇	—	六、九三六	八、九三〇	六、一六五三	一、〇六八	三、四〇四七
綿布	同五年	二、三	七、八	一〇六	〇、一	二、三	二、五七三	六、三六	四、四四	一、四二四	三、六二	四、三二二	七、九五五	六、〇二七
同	同六年	一、〇〇	二、九一	四、三	〇、四	七、六	九、四九	三、六〇	一、七	一、四一五	四、〇三	四、七六八	六、〇四	五、二五六
同	同七年	一、五〇	三、九四	二、五四	二、七	四、二	二、三七五	一、六二	〇、八	五、二〇	七、三五	六、〇〇六	二、九五六	八、六四六
砂糖	同五年	二、六六	二、四七三	七、八三	八、五	二、七八	八、八四三	四、四〇一	四、四六	五、七七八	四、三三	一、〇〇六	二、九五六	一、五〇六三五
同	同六年	六、六六	四、七七	一、九六	三、二	三、三	一、一五九	七、四三三	一、八九	六、四八	九、四一九	一、〇七三	一、三六一	一、五〇六三五
同	同七年	一、四三九	六、七〇	一、六七四	二、三	九、二六	一、九二七七	一、一〇六三	四、三	七、六二	一、〇六八	一、四三三五	二、四一九	二、〇七〇五七
寸	同五年	三、二九	—	九、六七	一、七六	二、八四	四、一七九	二、一〇〇	三、五六	三、〇三	一、二九九	三、六七五九	一、六五六	五、〇九五八
同	同六年	六、七七	七、九	一、五八七	一、三六	三、七六	三、六五〇	二、三三	一、九	三、八三九	三、八三	二、四四一	二、七〇三	四、三三四
同	同七年	九、四四	八、七	一、三三〇	一、七四	七、五	四、〇二一	二、二六	〇、二	二、九九〇	二、九一六	一、八三四	二、三六七	三、四九七六
油	同五年	六、五七〇	二、七〇	一、七二	四、八八九	三、九八	五、八三三	一、三九九三	一、三三四	六、九八	四、〇〇九	一、三六四四五	四、七〇二	二、三九〇九二
同	同六年	六、五八九	三、四〇	三、四四三	七、〇〇一	一、〇四六	九、四八三	一、〇五七九	五、九六	六、三六	五、八九	二、六〇六八七	四、〇一七五	二、五五三三
同	同七年	八、三四	二、九八二	四、八八四	四、四三〇	八、八七	一、一〇六九	八、五〇〇	一、四三	七、七四	七、六二	七、一七〇九	三、五五二一	一、六、七、八、五

△發送之部

一九

△到著之部

[illegible][illegible]

金融

主要貿易品概況

(五月中)

△銀塊　倫敦銀塊相場は四十八片八分の七に始り平和會議進捗するに伴ひ金銀自由賣買市場を再現し紐育に於て五月六日付銀塊輸出禁止を解き英市場亦銀塊相場の公定最高率を解除したるが爲め戰時中より抑制せられたる銀塊の需要は一時に紐育に殺到し加之投筋買注文あり十日紐育一弗十五仙倫敦五十八片を唱ふるに至り十三日倫敦市場先物取引開始せられたり其後相場稍落付き五十一片を唱へ安値は自然買注文を誘致し五十三片にて此月を終りたり

△爲替 爲替相場は日本向電信爲替百六拾壹圓貳拾五錢を以て
 始り最高百七拾圓に達し百六拾八圓を以て月を終れり蓋し本月
 は平和後稍落付きたるが爲め各方面輸出旺盛なるも輸入之に伴
 はず爲に米國銀塊輸出解禁の報ありたるも豫想に反し相場は寧
 る暴騰せしを以て相場益昂進せり

△金融 本月中旬「ホイコット」初りたれば商業の情態に一大變化を來し取引漸次杜絶し金融亦閉塞日一日惡化せりとす寒心に絶へざるなり

前月暴落の跡を受けたる當地市場は月を改むるも氣配益々悪しく一時扇面十六手百五十九兩見當を唱へ慘憺たる下落を示したるも爲替相場の落付模様なると阪地三品の躍進により忽ち氣配立直り扇面百七十五兩(二十三日)迄引返したる折しも山東問題に關聯し北京學生團の騷擾を惹起し之を導火線として各地排日氣勢昂り當地の最大銷路地たる濟南、濰縣及沿線各地に波及し遂に日貨排斥に亞で不買壓迫となり形勢漸く險惡を告ぐるに至りたるも既買約品の取引は差支なしとのことにホイコツト中の手當買盛んに行はれ日々一千二千(主として支那絲)の大口商内出來近來稀に見る盛況を呈せり而し之も滅前燈火の一輝に過ぎず排日の氣勢日々濃厚となりたる爲め沿線各地商人の引揚と共に端午節の接近と相俟て全然取引不能となり歐洲方面の好況見越米綿の奔騰に因る三品の大飛躍(三十日三品當限四百五拾圓先四百拾九圓六拾錢)も何等の影響を與ふる無く市況頗る閑散不振にて本月を終れり

綿布、綿絲と略ぼ同様の經路を辿り月始氣配惡しかりしが其後實需地方の買氣あり弗々商談行はれしが月末例のホイコツト見越買旺盛を極めたる爲め粗布天竺細布は勿論晒金巾紅金巾等の加工綿布に至る迄相當大口手合行はれ中々の商盛を極めたり

しが月末綿絲同様取引無く頗る閑散なりき

十日 二十日 三十日		十日 二十日 三十日	
福島	一八〇〇 一八四〇 一八〇〇	組布	五九〇 五五〇 五八〇
扇面	一六七〇 一六五〇 一七五〇	九龍	五九〇 五五〇 五八〇
綿絲	一七五〇 一六五〇 一七五〇	天竺	三七〇 三七〇 三七〇
紅月	一七五〇 一六五〇 一七五〇	大鼓	三七〇 三七〇 三七〇
銀月	一六〇〇 一六〇〇 一七四〇	菊	三二五 三二〇 三二五

◎砂糖

前半月の青島市況は内地の強調に伴はれデリ高の足取を以て進み相當手合せ行はれたるも後半に入りてより時局案じと日貨抵制に威赫せられて一般氣迷狀態となり支那側一齊買進まず加ふるに原料高を控へて製造側の態度益強硬となり相方睨合の中に五月を終れり相場は四溫糖月始七兩を唱へしが月末七兩四匁迄昂騰強保合へり

◎燐寸

先月來の輸入夥多に伴はれ一時市中在荷三千餘噸の多きに上れるも既に濕氣時期に入りたる事とて思惑筋一齊買控唯僅に實需筋の小口當用買を見たるのみにして大口商談行はれず輸入貨の多くは今當市中に停滯せる有様なれば市況極めて閑散相場は本月を通じて漸落の歩調を辿り月始二十六兩二匁より月末二十四兩五匁まで下押一兩七匁の下落を示せり

◎米

産地在米落と時局案じの爲内地期米の暴騰に伴はれ仁川も遽かに現米四拾五圓八拾錢と近頃の高値を唱ふるに至りたるが當市場は依然江蘇米の需要盛んなる爲何等の痛痒を感ずることな

く鮮米相場も伸腦みの姿にて亦三斗入一呎拾四圓四五拾錢江蘇米二百磅入上一袋貳拾壹圓見當を保合へるが近頃江蘇米として移入せられつゝあるものゝ多くは場違品にして江蘇省産に比すれば各等を通じて品質稍劣等なるを見るされど需要は益々旺盛を極め上等品袋貳拾壹圓次等品拾九圓下等品拾六圓見當を保合へるも品質の割合より見るときは上等品に於て七拾錢次等に於て約五拾錢の騰貴を示し居れり

◎石油

日油 運賃安と銀高の爲漸く輸入の餘地を見出し得たる日油は需要減退時期に入れる爲抄々しき賣行を見せざりし折柄本月初頭各地に突發せる日貨抵制の妄動波及するに及び商況全く不振に陥れり、外油は毎年夏期需要減退時期に於けると同様盛時に比し約二割の賣行減少を示せる外商況さしたる變化なし

◎材木

本年の建築界を見るに既に一順建築を了りたれば材木の需要も亦昨年の比に非ずされど沿線方面の需要比較的旺なるを以て相當小口賣行を見せつゝあるが前月來弗々北海材の入荷ありて在荷の拂底を補足し全く需給の緩和を見るに至れり相場は銀價の高低に伴はれ始終幾分宛の浮動ありと雖ども前月と大差なし

◎紙類

過般來漸落の歩調を辿り來れる内地洋紙界は製紙聯合會の相場維持策も其效なく市況益々惡化し印刷紙の如きは殆んど底入に近き低値を現はすに至りたるが前途需要益々旺盛なるべきを

認められたる有光紙及ザラ紙は稍持直し聊か強含みの商狀を呈するに至れり然れども青島は需要閑散時期の事とて商況頗る沈靜殊に濟南の如きは日貨抵制の影響尤も甚だしく從來邦商よりザラ紙の供給を受け居たる支那新聞社は一齊に立て非買同盟を結び支那商を介して天津市場より米ザラを引き使用するに至り日支の商狀全く杜絶するに至れり

◎紙卷煙草

東亞煙草は今回寶星牌、スピヤの如き支那人向煙草を携げ販路擴張の爲竊かに畫策する處ありしも過般來勃發せる日貨排斥に遇ひ計らざる支障を來し一時商談を中止するの止むなきに至れり其が爲從來同社の販路たりし沿線地方の如き坊子を除くの外は需要全く中絶し中には既賣品を返却し來るもありて支那人向煙草は僅かに青島に於てのみ其需要を見出し得るの狀態となり而して此氣分は奥地に入るに従つて益々濃厚となり牽て國貨の提唱を絶叫するに至り好機に乘じ活躍せる南洋煙草の爲徐州、泰安、濟寧等に鞏固なる根底を据わたる英米煙草も不測の災を蒙むりたるが如し

◎花生實

油の活況に伴れ前月來漸騰の步調を辿り來れる花生實は一氣に九圓と昂騰近頃には無き新高値を出し可なりの手合行はるゝに至れり

◎花生油

歐米市況恢復と同時に活況を呈せる花生油界は先月末十九圓迄昂騰新高値を現はせるが爾來米國筋の需要は殆んど無限にし

て注文殺到の狀態に在り之等は内地を通じ青島市場に向つて注文を集中し相場如何に拘らず買進みたる爲市況頗る緊張尠なからざる手合を見るに至れりされば相場は忽ち奔騰して月末シフ四十五圓並二十三圓五十錢と近年類なき高値を出したるも手持筋は殆んど全部を賣盡したる上農繁時期の事とて品出廻り潤澤ならずして著しく現物拂底を告げ賣手絶無の狀態となれり尙幾分市價の昂騰は免かれざるべしと觀測せらる

◎豆油

期節に近づきたる豆油は昨今弗々市場に其姿を現はすに至りたるが歐米市況の恢復に伴れ花生油の復活と共に同一の商狀を呈し月始十五圓五十錢より月末十八圓五十錢と近頃の高値を示せしも品出廻り未だ潤澤ならずして纏まりたる手合行はれず月末シフ三十七圓見當を保合市況稍緊張せり

◎綿花

歐洲方面より平和後の需要來るべき見込の爲米綿漸次強調を呈せる折柄奥地農繁時期となり品出廻り減少せると其他の事情にて相場は漸次に昂進月始の二十八兩五匁より二弗見當の高値を現はすに至りたるも左したる手合せ行はれざりしが下旬引續き米棉高値を入れたるより各地一齊買競ひ當市場も在荷薄と相俟て益強調を呈するに至りたるを以て最早此上の安値は到底望み難きを看取せる當地の二三大手筋は濟南市場に向つて極力買注文を發し約二三千俵の買付を爲し同地の滯貨を一掃するに至れり月末相場前途頗る強含みにて三十兩五匁見當を保合へり

◎石炭

淄川の出炭は引續き不良にして毎日千噸以上に出る能はざる爲其塊炭及洗小塊は漸く汽車用及發電所、水源地の如き無料配給炭を得るに過ぎずして市中小賣は元より回航汽船の焚料炭さへ他炭によるの外なき状態に在るを以て月始三井の手により開平炭約千八百噸の輸入を見たるも同炭は單獨にて之を家事用に使用するは些か不向の嫌あるにより運賃安と銀高を利用し月末頃再び三井の姪の濱及筑豊雜炭の輸入を呼ぶに至れるが之等日本炭の著荷を見る迄は市中の日本炭は全部賣盡し品拂底の絶頂に在りし爲炭價も頗る強調を示し居りしが需要閑散時期の事とて月末同炭の著荷と同時に緩和せらるゝに至れり中村組も亦礦石積取船にて筑豊雜炭を輸入し自家用汽船及地賣に充當せるあり一方章邱炭田の採炭も益順調に進捗し始めて同礦文祖炭の姿を當市場に見るに至りたれば現品漸く潤澤となり六月末頃に至らば幾分相場の下押を來すならんと豫想せらる月末姪の濱塊十五圓六十錢筑豊雜塊十五圓六十錢章邱切込十圓五十錢見當を保合へり

◎コークス

コークスの需要は内地精練業の不況に伴れ益衰退し毎月幾分宛舊約残りを積出し居るに過ぎざるが之とて控勝ちの姿にして徒らに埠頭及山元の滯貨を増しつゝあり然るに昨年夏頃の最盛時期に於て天津森洋行が嶧縣コークスの輸出を計畫したるもの最近漸く實現の運に至り四月中大阪へ向け約千噸五月中横濱へ向け約五百噸の初輸出を爲せるはコークス界不振の時期とて頗る斯界の注意を惹起せるが如し

◎麥桿眞田

上海、天津市場の活況に伴れ青島も三井、和記、怡和、義豐共一齊買進みたる爲商況稍活潑になり本月中旬約一千箱程の手合を見るに至れるが當地に於て最も多く取引せらるゝは矢張勉強普通品五ミリより七ミリの見當のもの多く相場は本月中旬始終強調を持續し其六ミリ四分の一に就て見るに月始八十五兩より月末九十五兩と昂騰十兩の上鞘を示すに至れり

◎牛 皮

日本に於ける製皮界は前途益好望となり殊に過般政府は軍需用皮革類製造の一半を民間に請負はしむるやの意志有るが如く傳ふるものあり爲に日本皮革株の如き一氣に八十圓見當の暴騰を見たる位にして製革界は多少活氣を呈せるも乾皮相場は依然大皮金八十圓中皮七十五圓小皮九十圓を動かす青島も其に伴れ前月相場を持耐ね沈靜の状態を装へるも賣手より見るときは現在相場は底入の低値にして常に隙を覗つて跳上らん氣勢を示しつゝあること内地の事情と毫も異なることなし故に露方面の需要状態にして好化するか將他より新注文入るに於ては相場は忽ち奔騰すべしと察せらる然れど已に出廻り時期を過ぎ漸く農繁期を迎へたる爲市中在荷薄く殆んど手合行はれず月末大皮三十二兩中皮二十八兩小皮三十七兩見當を保合へり

◎牛 肉

春暖後日本向輸出の一段落と共に開治洋行の麻尼刺輸出は益盛況の態なりしが本月二十日の積込を最後として前年度の契約全部を積出せることとなり一先手を收むるに至れり而して本年度分の納入契約に對しては過般既に麻政府に於て入札を了したるも未だ決定の運に至らざるが從來の關係もあり多分引續き同

洋行の手に歸するならんと觀測せらるる本月中の輸出數量を見るに日本内地方面は最も輸送に日數を要せざる二三箇所に向つてのみ輸出せられたるに過ぎずして其數六十五頭に激減し麻尼刺行千一頭佛蘭西行六百六十頭大連行百七十六頭計千八百六頭の輸出を見たるも盛況時に比すれば其三分の一に過ぎず

◎小麥

前月末より引續き前途高見込氣構への折柄日貨抵制問題突發の爲に刺撃せられたる内地製粉筋の買進みにより十日頃シフ七圓九拾錢見當の注文續々入込み市況稍緊張の狀況に在りしが一方に於て本年の内地小麥作は餘り上作ならずとの決定を得たると期米の暴騰に伴れ製粉亦暴騰中旬頃に至り四圓貳拾錢より一氣に五圓と跳ね上り殆んど白熱相場を出現する等強氣材料の續出に益買氣を煽りたる爲小麥相場は漸騰八圓參四拾錢見當にて夥しき輸出商談の成立を見るに至れり而して早魃を氣違ひたる山東地方一體月始三四回の降雨を見たる爲本年の麥作を懸念し賣惜しめる奥地手持筋も安心して賣出し相場も月始參圓五拾錢より中頃參圓八拾錢と昂騰近來になき大手合せを見るに至れり然れど排日的妄動は益各地に瀰漫し奥地買入意の如くならざれば買氣益旺盛なるも賣手なき狀態にして相場は四圓見當を保合つゝ本月を終れり出來高合計一萬七千餘噸に上り未だ嘗て見ざるの盛況を呈せり

◎鹽

一時狂騰拾參圓を唱へたる原鹽相場も本年度に入りてより漸落步調を辿り前月漸く六圓貳參拾錢見當を保合稍落付風情を見

せたるも過般政府買上價格の發表と同時に遽かに六圓四拾錢と跳ね聊か前途に杞憂を抱かしめたるが春鹽出廻り旺盛なりしと當局及買手側の周到なる注意により再び六圓貳拾錢と引返し手堅く保合中本月を終れり因に本年度納入鹽は總額二億萬斤なりと

内外經濟要報

支那紡績の發展

支那が歐亂中經濟的資源開發の必要に促され特に棉花の栽培増加、紡績業發展に關する官民一致の研究調査所を設置し以て其促進に資したる事既報の如くなるが今支那に於ける紡績業發展の狀況を最近着情報に就て考查するに歐亂勃發前の紡績會社數は三十二にして其紡機總錘數百二萬六千三百二十六錘織機六千九百三十二臺なりしが其後歐亂の影響により會社數十五、紡機錘數四十三萬二千五百九十八本、織機七千六百臺を増加し今日に於ては實に會社數四十七、紡機錘數百四十五萬八千九百二十四錘、織機一萬四千五百三十二臺を數ふるに至り是に目下計畫中のものを加算せば今明年中には二萬百錘を超えるに至るべし

現在會社數、現在會社の錘數及織機計數左表の如し

(▲印は一九一四年以後の設立に係るものなり)

會社名	所在地	錘數	織機臺數
怡和	上海	七三、九五二	五八〇
楊樹浦	同	五五、六三二	四一六
老公茂	同	四〇、〇九六	二〇〇
東方	同	五〇、七六八	二五〇 (準備中)

進備中

振新	同	三〇、〇〇〇	
▲廣勤	同	一五、〇〇〇	
通新	杭州	二〇、一六〇	
鼎惠	蕭山	一〇、三〇〇	
裕豐	常熟支塘	不明	不明
通久源	寧波	一八、〇〇〇	
和豐	同	二三、六〇〇	
湖北紡紗局	武昌	五〇、〇〇〇	
同織布局	同	四〇、〇〇〇	六〇〇
▲績成	沙市	五〇、〇〇〇	
慶祥	保定	一、一〇〇	
裕新	昭文	一〇、一九三	
裕泰	齊東	一五、〇〇〇	
廣益	彰德	三二、〇〇〇	
▲漢口第一	武昌	四〇、〇〇〇	五〇〇
智豐第一	鑑清		設立行惱 据付未了
▲同第二	濟南	一二、〇〇〇	
▲直隸模範	天津	一〇、〇〇〇	
▲裕元	同	三五、〇〇〇	
▲華新	同	二五、〇〇〇	
▲長沙紡績	長沙	四〇、〇〇〇	
▲東洋	上海		
合計		四七 一、四五八、九二四 一四、五三二	

▲勢力分布狀況 更に是等紡績會社の設立年月日、資本金及經營者所屬國名を舉げて會社各自の信用勢力竝に各國の同地斯業に對する勢力如何を考察するに左表概示の如く支那系三七會社、英國系五會社、獨逸系一會社、日本系四會社なるが支那系會社中には既に日本或は英國と提携したるものあり又今後斯かる形式の下に他國人の實勢力下に發展するものあるべければ實際支那人の獨力經營に係るものは今後大に減退すべきかと觀測さる

鹽賣渡價格改正

廿二日大藏省告示を以て特別用鹽規則第二條第一號の場合に於て政府が其請求者同條第二號の場合に於て政府が鹽小賣人に賣

渡す内地收納鹽及同再製鹽四十斤入の價格を左の通り定め即日より施行の旨公示せらる

△一等鹽金四圓一錢△二等鹽三圓七十八錢△三等鹽金三圓五十九錢△四等鹽金三圓四十三錢△五等鹽三圓二十九錢

前條の場合に於て政府が其請求者又は鹽小賣人に賣渡す輸入鹽及加工鹽百斤吸入の價格左の如し

△臺灣鹽 上等原鹽(三圓十一錢)並等原鹽(二圓九十錢)洗滌鹽(三圓四十七錢)

△關東州鹽 上等原鹽(三圓十一錢)並等原鹽(二圓九十錢)再製鹽(三圓五十八錢) 粉碎鹽(三圓) 粉碎洗滌鹽(三圓卅五錢)

△青島鹽 原鹽(二圓九十錢)再製鹽(三圓五十八錢) 粉碎鹽(三圓) 粉碎洗滌鹽(三圓卅五錢)

△威海衛鹽 原鹽(二圓九十錢)粉碎鹽(金三圓) 粉碎洗滌鹽(三圓卅五錢)

△支那鹽 原鹽(二圓九十錢)

△安南鹽 原鹽(三圓) 粉碎鹽(三圓三十八錢)

△英米鹽 粗製鹽(三圓七十四錢)精製鹽(各購買價格に金五圓五十錢を加へたるもの)

△西班牙鹽 原鹽(三圓) 粉碎鹽(三圓三十八錢)

又鹽專賣法第十九條第一項第一號に依り外國に輸出し又は鹽專賣法を施行せざる地に移出する鹽及特別用鹽規則第一條の用途に使用する鹽の賣渡價格左の如く定められたり

△内地收納鹽 賣渡當時に於ける其の鹽の賠償價格に相當する金額

内地再製鹽 (一等金三圓三十三錢二等三圓十二錢三等二圓九十三錢四等二圓七十二錢)五等二圓五十錢

臺灣鹽 (上等原鹽一圓六十三錢並等金一圓五十五錢洗滌鹽一圓九十七錢)△輸出移出に供し又は化學的藥品、人造色素製造に使用するもの(上等原鹽一圓六十二錢並等原鹽一圓五十一錢七厘洗滌鹽一圓九十三錢)

△關東鹽 (上等原鹽一圓九十六錢並等同上)一圓九十三錢再製鹽二圓七十五錢粉碎鹽二圓廿五錢五厘粉碎洗滌鹽二圓六十九錢)△輸出移出に供し又は化學的藥品、人造色素製造に使用するもの(上等原鹽一圓九十四錢並等原鹽一圓九十二錢粉碎鹽二圓二十四錢五厘粉碎洗滌鹽二圓六十八錢)

△青島鹽 (原鹽一圓六十四錢再製鹽二圓八十五錢粉碎鹽二圓十錢粉碎洗滌鹽二圓五十錢)

△威海衛鹽 (原鹽一圓九十五錢粉碎鹽二圓六錢同洗滌鹽二圓三十四錢)

△支那鹽 (原鹽二圓七十五錢)

△安南鹽 (原鹽二圓五十六錢粉碎鹽二圓九十二錢五厘)

△英米鹽 (粗製鹽二圓十四錢)

△西班牙鹽 (粗製鹽二圓五十一錢五厘粉碎鹽二圓九十八錢)

新關稅の影響

支那の關稅改正が二三の我重要輸出品に及ぼすべき影響の觀測は概ね左の如し

▲綿絲 影響の最も多きは二十手以下の所謂太絲にして若現今高騰せる銀價が一朝低落に會せんか我不利となるは勿論國產原棉を使用し運賃保險料關稅等の負擔を免かる、支那產綿絲の漸次發達を來すべきは豫見し易き所にして従つて太絲を原料とする綿製品も略同様の影響を受けるに至るべし中細絲と精巧綿製品は近き將來に於て支那紡績業の追隨を許さざるものあり併し今回の改正表に據れば細密に亘り居り綿絲布共に品質價格等により細別區分し居るが爲に從來一率に課稅せられたるものも各相違を生じ隨つて其影響は物によりて輕重其の度を異にし一概に見る可からざる事情あると共に(一)單に日支間の關係のみならず(二)英米其他との競争關係ある品と競争關係なき場合とにより考察を異にするが故に其影響は甚だ複雑せるが尙支那内地の生産費を見るに支那棉花現在百斤に付き七十圓假に三百六十斤とし原棉價二百五十二圓工費四十圓と見て一俵三百圓に充たざる我市場相場は標準絲先物三百五十六圓見當にて其競争關係を推知すべし

▲洋紙 支那内地に於ける製紙業は僅に五六工場に過ぎず洋紙の大部分は我國及び米國よりの輸入に依れるが此中我國は専ら更紙ロール紙を供給し米國より印刷紙を供給し居れり而して更紙に於ては我國の方が米國より生産費及び運賃の點に於て勝味あり又今回の關稅改正も支那内地工業發達の爲に非ず關稅收入増加の目的なれば昨年 に於て約八百萬圓に達したる對支洋紙輸出も關稅に於て幾分改正されたりとて毫も影響する處なかるべきか

▲藥品染料 目下我國より曹達灰苛性曹達硫化曹達石炭酸鹽酸加里等の工業藥品及び直接染料等の輸出あれど其の額少量なるのみならず支那内地には藥品染料製造工場絶無の狀態なれば英米或は我國よりの輸入に依るの外なかるべく結局戰後に至らば支那市場に於ては獨逸品の競争こそ眞に問題なるべし

支那醬油研究

最近數年間滿洲に於ける醬油釀造業は著しく活氣を呈し來れり此等釀造會社は滿洲に於て廉價なる大豆小麥鹽を原料として製造し殊に近來支那人の醬油需要が盛なる傾向あるを以て之に供給せんとして目論見られつつありと雖も支那人が果して日本醬油を需要するや否即ち嗜好の點を最も考慮せざるべからざるなり支那在來の醬油は其風味遙に日本醬油を凌ぐのみならず歐米人の嗜好にも適し好評を博しつつあり日支醬油釀造法の異なる點を擧ぐれば日本にては小麥を熬り且挽碎きて使用し支那は之に代ふるに生の小麥粉を以てす而して支那は比較的大型の甕を用ひ殊に夏季の炎熱を直接利用して醱酵せしめ日本の如く最初より倉庫内に貯藏し且大規模の釀造を爲すこと少しこれ等の點は

釀造上最も注意すべきことなり然るに滿洲に於ける我が醬油釀造業者は支那醬油の研究支那人の嗜好を無視し純粹なる日本式釀造を企て徒に低廉なる劣等醬油を供給せんとするは果して當を得たるものなりや否や日本人は醬油臭しと云はるゝ程三食共之を使用し且日本人に芳香美味と稱せらるゝ日本醬油の風味は歐米人支那人に取ては厭ふべき惡臭として迎へらるゝに反し支那醬油は斯の如き臭氣無く其の風味の佳良なるは我々日本人にてさへ或は日本醬油を凌駕するものありと思はるゝ程なりしかも支那醬油の價格は一升五六十錢より八九十錢にして敢て日本醬油に劣らず劣等品としても又夫々供給するものあり敢て日本品の供給を仰がざるも可なるものあり故に我が醬油釀造家は支那醬油の特長を研究し之を日本醬油の上に應用し大規模の釀造を可能ならしめ且海外輸出品たらしむるは最も策の得たるものと云ふべく滿鐵中央試驗所は之に着眼し昨秋銚子山十釀造元に於て十數年間醬油研究に没頭せし中島工學士を聘し支那醬油の研究を爲さしめつつあるを以てやがて其の成績見るべきものあるべしと

印棉資金の調節策

倫敦に於ける印度省爲替の賣出價格が一舉二片高を告げ一留比に付一志八片てふ突飛の新高値となりたる結果我對印爲替は賣買相場を通じ十留比餘の暴落を演じ電信爲替相場は百圓に付百三十二留比となり此相場とても單に名目相場に過ぎずして實際の取引相場は百三十留比以下に落込み而も現在の所内外爲替銀行を通じて送金爲替の取組に應ずる者なき趣にして爲めに茲に又復印棉爲替資金問題の再燃するを見るに至りたるが今や平和克復の調印將に成らんとしつゝあるを以て後段記する如き爲替

關係の上より來る我

△對印輸出 貿易の漸増は或は見る事あらんも戰時中に於けるが如く未曾有の旺盛は得て望む可からざるもの、如し前年印棉資金問題の起りし當時政府が執りたる南洋爲替政策は今後其の貿易上及貿易以外の大出超が到底實現し能はざると共に糖價の世界的奔騰は却つて對南洋關係に於て我國が對外債務者たらんとするやも測り知る可からざるが故に所詮は成功を期すべからず従つて現時に於ける印棉資金の調節は正貨の現送に依るの外なからんも我在内正貨の對印現送は兌換基礎を危うする上よりして固より實行し得ざる所なると共に米國の正貨を前年の如く取寄せ現送する事も今日の場合先づ以て實行難と見ざる可からず吾人が萬が一にもと思料せらるゝ所は米國銀塊の購入現送にあり尤も

△米國銀塊 の巨額なる買付は各國の補助貨鑄造用として需要ある外聯合國軍隊の凱旋に伴ふ銀細工品用の需要見込により動もすれば騰貴せんとするの傾向を有する銀價をして更に奔騰の可能性を挑發すべきも我印棉資金に對する焦眉の急を救済する唯一の途なる可し今試みに米銀購入より招致する我對印爲替の歸結を見るに紐育銀塊相場が一オンスに付一弗〇八仙四分の一(五月二十九日相場)を唱ふるとせば印度貨一留比のバリチーは約四十仙半に當り更に之を英印間爲替即ち印度省爲替の賣出價格に換算すれば約一志九片に相當す即ち米國に於て一オンスの銀塊を前記の一弗〇八仙四分の一にて購入する事はカウンスルビルの賣出價格が一志九片を以てせらるゝと同一結果を示す次第なるが米印間現送費用を假に五分と看做せば米銀の購入價格一弗〇八仙四分の一は正にカウンスルビルの賣出價格一志十

片に相當する事となる故に五月三十一日の大阪朝日紙上に現はれたる印券價格の二片方引上げられて一志十片説は或は事實なるへきやも知る可からざるが兎にも角にも

△印券賣出 價格が一志十片を唱ふとせば現下の倫敦宛電信相場より觀て我對印電信爲替は正に百十九留比半、荷爲替三十日拂相場は百二十四五留比法示す結果を齎すべく此數字的論をのみより推及すれば正金銀行の對印爲替は早晚又復八留比内外の引下げを餘儀なくせしめらる可し

由是觀之米國銀塊を購入して印度に現送するの議は事實の上に於て可能なりとするも紐育銀塊相場の騰貴を招致し従つて我對印爲替相場の大逆調を毫も緩和するの方策たらずして印棉資金の調達に限りある印棉資金の調達を現實になさしむるに過ぎざると共に

△銀價昂騰 の趨勢を刺戟するが爲めに我對印爲替相場の逆調を益高めんとするの思はざる結果を來さしむるものに非ざるか唯吾人の以て有望なる可しと思惟する點は對印爲替の暴落に基く印度の我物貨に對する買氣の勃發して一時的にもせよ我對印輸出貿易の上に活況を呈すべきにあり故に吾人の印棉資金調節問題解決策として唱道せんとする所は米國銀塊の購入現送策と相俟ちて現送米銀の印度に於ける市價を基準とせる我對印爲替相場の引下げより生ずる對印輸出貿易の激勵にあり要するに印棉資金問題解決の鍵は亦も不幸にしてウイルソンの掌中にありと謂うて可なり(小林大阪高商講師)

銀行新聯盟成立

臺灣銀行は今回佛蘭西コックス株式會社が大戦後に處する爲め

世界的貿易金融機關として發展せんとするの計畫に參加し東洋に於ける代表的銀行として其株主に加盟したる事を發表せり今其計畫の内容に就て聞くに佛蘭西コックス株式會社は倫敦に於けるパークレー株式銀行及個人銀行たるコックス會社の共同出資の下に大正四年其娘銀行として資本金三萬鎊を以て巴里に設立せられ英佛爲替取組を主とし兼ねて一般銀行業務を取扱ひ頗る優良なる成績を挙げ來たるが最近に於て資本金を百五十萬鎊に増加し從來の業務の外世界的貿易金融機關たらんとするの計畫を樹て其方法として各大陸より代表的銀行を擇び新株主として加盟せしむる事としたるが東洋方面の代表的銀行としては臺灣銀行が之に加盟する事となれる外各方面の株主銀行左の如し

亞弗利加 南亞國民銀行

南 米 南米英國銀行

北 米 アーヴィグ國民銀行

加奈陀及濠洲方面 (交渉中)

右の外倫敦にてはパークレー銀行及コックス會社依然として主要株主たるは勿論なるが是等新株主銀行の地位は増資主資本主として一面義務上の利便を有する事多大にして當該方面(例へば臺灣銀行は支那南洋方面)を勢力範圍とし其各本支店は取引上に於て佛蘭西コックスの支店と同様の關係に立つものにして是と同時に佛蘭西コックス各店は臺灣銀行の支店と同様に利用し得ると共に且つ各加盟銀行間にも相互に業務上の利便を圖るべきは勿論なり右の計畫は國際貿易金融機關として新しき試みにして關係者は之れを以て銀行聯盟(リーグ、オブ、バンクス)と稱し居れるが戰後に於て歐洲大陸は其復舊事業の進行に伴ひ東洋方面に物資の供給を求むる事大なるべく豫測さるゝを以て臺灣銀行に於ても其金融機關として我貿易業者に特別の利便を提

供するの目的を以て之に參加する事となれるなりと尙同銀行の出資額は聯盟資本の約一割にして代表重役として同行倫敦支店長代理佐々木義彦氏に決定し居れりと

青 島 雜 錄

◎鹽の輸出高 春來降雨少き爲め農民は太く旱魃に苦み居れると反對に鹽業者は絶好の天候として其增收を期待しつつあるが本年度に於ける當港の原鹽輸出豫定數量は約二億五千萬斤にして既に輸入命令の決定せる者は大日本五千萬斤青島鹽業四千九百四十萬斤中村組三千萬斤内地工業家用六千八百萬斤朝鮮五千萬斤等なり

◎開治輸出冷肉 山東牛肉の馬尼刺浦鹽内地に需要さるる數量は大正五年以來非常なる勢ひを以て増加し隨つて屠獸場も近來一日數百頭を屠殺するの盛況を告げ竟に其擴張を要するに至れり而して日本仕向の牛肉は屢報の如く多量に上れるも只冬季のみに限られ又浦鹽行も昨今著しく減少せるも獨り開治洋行の手を經る馬尼刺輸出は依然旺盛にして本年も一月以降三月迄に一千九百六十噸の輸出ありたるが大正五年より本年に亘る其輸出高を見るに左の如し(單位噸)

	總輸出高	内馬尼刺仕向
大正五年	一、八八二・二	一、〇〇二・〇
同 六年	三、四六七・二	二、一三〇・六
同 七年	九、一七六・八	三、七〇四・三
同 八年	三、九二五・五	一、〇九六・〇
同 三月合計	一八、四五一・七	七、九三二・九

◎坊子榨油事業 嘗て當地の重大問題視されたる坊子日本人會經營の電燈事業は曩に濟南電業公司に譲渡したるが同會社は更

に當地附近有力者及び二十里堡英米煙公司の資金に據て一大榨油事業を計畫し前記電燈事業と合せ經營する事となり既に搾油機ボイラ等到著二馬路には同公司發電所等の家屋を新築し大半竣工するに至れり

◎沿線出炭狀況 山東鐵道沿線各驛に於ける六七兩年度各一箇年分及び八年四月分の石炭發送(數量單位噸)は左の如くにして淄川炭坑驛の漸次不成績を示せる外一般に成績良好なるが殊に即ち明水驛棗園莊驛の章邱炭の如き人目を驚かしむるものあり

淄川炭坑驛 ▲六年度四二七、二七二▲七年度三三〇、〇八〇▲八年四月二三、六六一〇
坊子驛 ▲六年度一一、四〇七▲七年度二五、五八三▲八年四月五、九四七

博山驛 ▲六年度二一六、二九七▲七年度二三六、九五〇▲八年四月二二、四六九

大崑崙驛 ▲六年度二五、七一六▲七年度七六、六九〇▲八年度四月八、〇七五

淄川驛 ▲六年度二、一四五▲七年度一一、一九六▲八年四月一、四八五

明水驛 ▲六年度零▲七年度二、四五五▲八年四月一、五二〇棗園莊驛 ▲六年度一六五▲七年度四、二四五▲八年四月一、三九五

◎給炭方針變更 世界的の石炭不足は此山東にも襲來し昨年來當地並に沿線に於ける石炭不足の聲の喧囂を極めしは従前に例を見ざる所にして淄川炭の配給不如意の結果昨年より本年に亘りて稍多量の開平炭日本炭の輸入を見たり而して石炭の缺乏は淄川炭礦の出炭量が日々異なる事も其一原因には相違なきも主因は需要の激増にあるが同炭礦にては出炭増加の爲め始終努力を傾注しつつあり最近の計畫に係る一千キロワット電動唧筒及びボイラ三基の増設も採炭擴張の目的に出でたるは言を俟た

ざる所にして聽ては一日二千噸内外の出炭を得之に依て或程度迄需給の調節を計り得べきも需要は更に増加せんか到底配給の圓滑を期し難きを以て先般鐵道部内の異動を機會に給炭方針を變更し今後は軍所要分と工業家用に重きを置く事となりたる由なれば一般用炭は殆んど全部撫順、開平、日本炭となる可し

◎鹽田開設著手 久しく著手を躊躇したる鹽田經營者は先月來續々工事を開始し大日本、青島、東洋を初め一部小規模なる者を除く外は殆んど全部開設に従事しつつあれば本年秋頃迄には一千町歩内外の竣工を見るべきが貸下鹽田總面積は概算一萬五千町歩あり之等全部の開設を告ぐる迄には兩三年を要すべしと

◎麥稈眞田有望 戰前歐米諸國に對する輸出旺盛を極めたる結果本邦眞田界は長足の進歩發展を告げ殊に麻眞田は歐米婦人帽として愛用せられ一時非常なる流行を見しかば我國に於ける麥稈並に紙眞田製造業者は漸次麻眞田業に移りたるが大戦勃發以來世界最大需要國たる英國の眞田輸出入禁止に會し次いで又米國の禁入に依り本邦眞田界に一大恐慌を惹起せるが其後我政府當局並に各當業者の努力に依り之が禁入を緩和し戰時中不振乍らも多少宛の輸出を爲し辛うじて其命脈を保ち來れる折柄昨年未休戰條約成立と同時に一層海外の注文減少して我麻眞田類の輸出益々衰へ稍や悲觀に傾きたり而して我眞田界が斯く波瀾曲折の運命に會したると同時に英米諸國は麻眞田の供給不足に苦みたるにより之が代用品として麥稈眞田の生産供給を爲し來りたれば最近に於ては漸く歐米諸國民は麥稈眞田製帽を愛用する傾向あり殊に過去數十年間に亘れる麻眞田の流行の結果漸次價額低廉となりて下層社會に至る迄一般に需要せられたれば上流社會の需要は漸く減少し却つて麥稈眞田製品の愛用を招來

しつづければ歴史は過去を繰返すの例に洩れず平和後には再び麥稈眞田製品の流行旺盛時代に推移せん勢ひにあれば本邦業者者は大に此變轉推移狀態に注意する必要ありと當業者は前途に望みを囑し居れりと

◎製函需給狀況 青島に於ける一年中の製函需要高は麥酒會社の約六萬函を初めとして燐寸工場二十五萬函各製油工場一百萬函等其主なるものにして此見積價額百萬圓内外に達すと云ふ而して從來之等多數の製函は全部内地に供給を仰ぎ函材として輸入したる物を組立て使用し來りたるも便船其他の關係より供給頗る不圓滑なるより當業者は常に多大の不便を感じつゝあり最近に於ても落花生油市價の暴騰に伴ひ月額六七千噸の商談成立したるも容器たる鐵力罐製函缺乏の爲め折角現品を有し乍ら輸出不能に終りたる者尠なからざる由なるが此需給の圓滑を期するには其製作供給を當地に求むるの外なく工場地の和田製材所は當初此製函目的にて設立を見たるものなるも運賃高と設備不十分なる爲め未だ其開始の運びに至らざりしも近來船賃の暴落を告げたる結果採算稍有利となれるに依り愈々製函に著手する事となり之に伴ふて製材工場を現在の二倍に擴張し其他モータ機械鋸等も増設に決定目下其準備中にあり擴張完成迄は十分なる製作能力を有せざるも昨年にも一ヶ月二萬函位は容易なるを以て先般麥酒會社との間に一日三百函納入の契約成立し來月十日より實行の筈なり

◎商業中心移動 久しく工事中の青島郵便局及魚菜市場は愈々竣成を告げ近く何れも新築家屋に移轉する事となるべきが之と前後して正金安部幸支店等も落成一二旬中に新營業所に於て營業を開始する筈にて鈴木商店も未だ新築には著手せざるも金田

醫院前の倉庫二階に店舗を移す事に決定したれば自然商業の中心は所澤町に移動を見る可く大連汽船も本年より明年に亘り新築の筈にて其他二三大商店は同方面に移轉計畫中のものあれば近き將來に於て所澤町葉櫻町は全く面目を一新するに至るべし

◎化學工業所擴張 山東化學工業所は最近漸く開業の運びに至りたるも現在の規模設備にしては如何に試験的とは云へ到底收支償ふの見込なきを以て更に工場擴張の計畫を立て目下民政署に對し隣接地三千餘坪の貸下出願中にて擴張工事の設計は既に悉皆整ひ居れば許可の指令あり次第工事に著手すべしと

◎工場地の整理 青島の企業熱は依然旺盛にして工場地の如きも疾に貸下濟となり全く餘地を存せざるに同擴張地も明年九月を俟ざれば竣工を見る能はざる爲め事業の新規計畫者は其敷地不足に苦しむ事一方ならず延て借地權の賣買若くは貸借の行なはるゝに至れるか民政署にては茲に鑑る所あり工場地整理の必要を認め最近某社に貸下たるものゝ内約四千坪の返還を命じたりと云ふ

◎日華興業成立 鈴木友二郎、松波銀之丞氏等經營の坊子東炭坑の組織變更説は昨年來傳へられ實際鈴木氏も東上運動する所ありたるが先月高橋熊三氏の來青に依りて該計畫は一氣に進捗し愈金五十萬圓の株式會社成立既に濟南にて登記を経たり而して同社は今後東炭坑の事業を繼承經營に當る事となる可く取締役は高橋熊三、鈴木友二郎、安部幸之助、若尾倫、松波銀之丞の五氏又監査役は川崎友之介、岡野利兵衛二氏なり

◎山東殖産成立 昨年來當地の澁川、西川氏等に依て創立計畫中の土地建物其他を目的とする山東殖産株式會社（資本金二百萬圓、は一時其成立を危ぶまれたるも最近に至て意外の進捗を

告げ株式は全部引受済となれるに依り四分一拂込を行ひたる上廿三日奉天にて創立總會を開きて愈々成立を告げたるが本店を奉天に置き支店は差當り當地濰川氏宅のみに設けたるも漸次沿線各主要地に設置の筈なりと役員氏名左の如し 取締役 峯八十一、手塚安産、濰川柳次郎 監查役 西川博、高野常三郎

◎青島銀行株式 屢報青島銀行總株式一萬株の内六千株は舊青島貯蓄會員に二千株は發起人に於て夫れく引受け殘二千株は賛成人に割當の筈なりしも賛成人百人に對し僅かに二千株にては一人平均二十株當となり斯の如き少數の引受は賛成人の好まざる如き模様なるを以て同行にては右二千株の分配方法を變更し賛成人より一人二千株を限度として申込を受付け然る後適當に割當る事となしたり

◎土木部一期豫算 大正八年度第一期即ち本年四月より九月迄六ヶ月間に土木部用として支出すべき軍政費の豫算額は一百八十七萬六千七百〇七圓にして之を昨年度同期の一百一十一萬二千八百圓に比すれば七十六萬三千九百零七圓の増加なるが其工事の主なるものは大港埋立(昨年度よりの繼續事業)第二大港埋立日本人墓地築造及び移轉、苦力部落建設、白沙河水源地擴張(昨年度よりの繼續事業) 滄口水道新設、青島魚類競市場新設、中學校及び同寄宿舎新築、女學校寄宿舎新築等なり

◎四月、中屠獸數 青島屠獸場に於ける四月中屠獸數は總計五千七百七十七頭にして前月に比し四百二頭を前年同期に比し千二百三十頭を増加し之に本年一月以降合計二萬三千二百六十二頭となれるが本月増加原因は在來同様輸出牛多數を占めたるに據るもの、如し前記數を種類別になし前月及び前年同期と比較列

舉せば如の左し(單位噸)

	四月中	三月中	前年同期
牛、驢	四、七五八	四、二七八	三、三四六
山 羊	五〇	三五	二四
豚	九六六	一、〇五七	一、二七八
合計	五、七七五	五、三三七	四、五四八

尙一日平均屠獸數は四月中作業日數二十四日間なりしを以て二百四十六頭強にして前月の二百二十四頭弱に對し二十二頭強を増加せり

◎遊内山燈臺試點 遊内山燈臺の工事は過般竣工せるもレンズ色硝子等未著の爲め未だ點燈開始の運びに至らざるが既記の如くレンズは英國より橫濱に向て發送の途中破損せるに依り不取敢周圍の色硝子を取付たる上點燈を行ふ事となり六月上旬を以て試點式を舉る由にて更に七月頃英國よりレンズの到着を俟て設備完成燭光も現在の十倍の一萬五千燭となる可しと

◎青島模型作製 今回當局者にては青島占領記念として其發展の跡を一目瞭然たらしむべく完全なる大規模の模型を作製する事となりたるが其の種類は獨逸占領前我軍占領前及び現今の市街即ち支那獨逸日本三時代の全景とし孰れも當時の故老は勿論要路の人々にも其實況を質したる上出來得る限り正確を期すべく近く同方針を以て各方面の調査に著手すべしと尙は製作期限は來年三月中として前記同種類の者二組宛を作製し一は宮中に獻納し他は來春帝都に於て開催せらるべき植民地博覽會に出品の豫定なりと云ふ

◎商標法管內準用 占領地管內に日本の商標法が準用され居るや否や又法令に依りて正當に保護を受くべき商標權が占領地管內に於て侵害せられたる場合之を裁判上の問題として權利を主

張し得るや否やに關する疑義は過般エムシーシー紙卷煙草の商標を模造し同一名稱を附して占領地管内に於て賣捌きたる者ありとて之が商標權者より守備軍法院に告訴を提起せる事件に關聯して生じたる問題なるが今回法院は此事件に就き判決を下し該行爲は大正三年軍令第一號第二條、軍律第三條（左記條文參照）に該當するを以て日本商標法第二十三條第一項第六號を準用し青島守備軍刑事處分令に依り處斷すべきものなりと云へり此の判決例に依り占領地管内に於ける商標法の準用有無の問題は全く解決せられたると同時に將來右同様の問題發生したる場合には此の判決例の示す所に従ひ等しく處斷せらるゝものと云ふべし

（大正三年軍令第一號第二條獨立第十八師團に於て公布の軍令及告示は依然其の効力を存續す）

（獨立第十八師團軍律第三條 前條に掲ぐるものの外我軍に對し有害の所爲ありたる者は帝國の法令又は犯行地の法令及慣習に準據して處分す）

◎獨人財産調査 海外に於ける獨人の官有財産は勿論私有財産處分に關しては今回講和會議席上に於て列國の問題となり我國も亦聯合國の一員として同一態度を執るべく期待され居たるが我青島に於ても亦愈々敵國人財産調査規則第三條を定め廿三日軍令第十八號を以て之を發布し公布の日より直に施行せらるべし同規則に依れば敵國人及び敵國法人にして軍管内に於て現に財産を所有若くは占有し又は敵國人及び法人の爲に財産管理をなす者は施行當日より七日以内に民政署長を経て（一）土地（二）建物（三）機械器具（四）商品の所在種類原價及び時價其他一切の事項又所有者占有者管理者は其住所氏名竝に占有の事由管理契約の内容等を届出でしめ尚ほ必要と認めたる場合には憲兵又は吏員を派して其實地に臨檢搜索する等機宜の處置をなす事とせ

り而も萬一理由なくして前記の届出をなさず若くは虚偽の届出陳述をなし或は臨檢を拒む者は三月以下の監禁又は五百圓以下の罰金に處せらるべしと云ふ

◎獨代表者召喚 別項敵國人財産調査規則發布せられたるに付早川民政署長は兵藤顧問軍幕僚立會の上署長室に残留獨人代表者ヴュルツ、ウイルヘルム兩名を召喚し同規則發布の精神及内容に關して懇諭する所ありたるが兩名は充分當局者の意嚮を諒解したるものゝ如く深く感謝の意を表して退出したりと

◎遣歐苦力分布觀 最近歐洲より歸還の苦力にして去る四日大港驛より乘車山鐵沿線各地に下車せる者の總人員は一千八十九名にして是等の下車驛竝に其人員は左の如くにして山東に於ける募集苦力出身地の分布觀たるを得へし

滄口六、城陽四七、藍村二、膠州六、高密一九、坊子四八、濰縣三三七、昌樂二三、譚家坊子三九、青州一八二、張店二七、周村一四六、濟南二〇七、計千八百九人

右に依れば最も多數なるは濰縣の三百卅七人濟南の二百七人青州の百八十二人周村の百四十六人の順位なり

◎青島燐寸開業披露宴 青島燐寸會社は昨年事業開始以來異數の發展を遂げ今日にては一日の生産高燐寸五十噸（二百箱）軸木三萬束を製し先づ第一期計畫の完成を見且つ開業一週年を迎ふるに至りたるを以て五月十七日午後一時同工場内に主なる官民約三百名を招待盛大なる之が披露宴を催ふせり一同の工場内及模擬店餘興を終るや午後四時宴會を開き事務近藤力藏氏の挨拶秋山民政長官來賓を代表して祝辭を述べ向西參謀長の發聲にて同會社の萬歳を唱へ午後五時盛況裡に散會せり

◎橫濱正金支店新築披露宴 橫濱正金銀行青島支店新築落成披露會は六月八日所澤町新築庭内に於て催ふされたり招待を受け

たる者官民約八百名定刻午後二時より陸續來場昨の事務室今日の庭園(急仕立)に興を呼び階上の骨董陳列場より休憩室を逐次過ぎて更に階下より構内餘興場に至り折柄來青中の曾我廼家五童一行の喜劇、糸の家、第一、大辰、三浦屋、漣連の演技を觀之と向ひ合せの休憩場は各模擬店に圍まれて來賓滿ち渡り時間に制限なき接待に一同悠々歡談飲み且つ食しながらの餘興歡覽に思はず時を費し午後五時珍らしき盛會を盡して散會せり

法 規

軍軍令第十九號

大正四年八月軍軍令第六十一號官有土地貸下規則中左ノ通改正ス

大正八年五月三十一日

青島守備軍司令官 大島 健一

第二條中 軍政施行區域内ヲ其ノ土地ヲ管轄スル民政署區域内ニ改ム

第三條 官有土地ノ貸下ヲ受ケムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ民政署長ニ出願スヘシ

一 住所、氏名、職業、生年月日

二 地名、地番及所在地附近ノ略圖(梯尺二千分ノ一以上ヲ用キ出願地ハ明瞭ニ標示スルヲ要ス)

三 所要坪數、使用ノ目的及使用ノ期間

四 使用ノ目的カ家屋ノ建築ニ在ルトキハ豫定建築物ノ種類、構造、建坪數及之ニ要スル經費並豫定建築期間

五 使用ノ目的カ家屋ノ建築以外ニ在ルトキハ其ノ使用計畫ノ概要及之ニ要スル經費

六 現ニ其ノ借地人タル者ニ在リテハ借地ノ筆數及總坪數

第四條 借地人ハ土地ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ三箇月以内ニ成規ノ建築願書ヲ民政署長ニ提出スヘシ但シ建築以外ノ目的ヲ以テ官有地ノ貸下ヲ受ケタル者ハ土地ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ二箇月以内ニ其ノ施設ニ著手シ著手期日ヲ民政署長ニ届ツヘシ

建築ノ許可ヲ受ケタル借地人ハ其ノ日ヨリ二箇月以内ニ工事ニ著手シ其ノ著手月日ヲ民政署長ニ届出ツヘシ

季節ノ關係其ノ他特殊ノ事由ニ因リ第一項ノ期間内ニ建築願ヲ提出シ得サルトキ又ハ工事若ハ施設ニ著手スルコト能ハサルトキハ事由ヲ詳具シ民政署長ニ出願シ其ノ期間延長ノ許可ヲ受クヘシ但シ其ノ期間ノ延長ハ土地ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ起算シ八箇月ヲ超ユルコトヲ得ス

第四條ノ一 家屋其ノ他建築ノ爲土地ノ貸下ヲ受ケタル借地人ハ土地ノ引渡ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ建築保證金トシテ土地貸下料年額ノ五倍ニ相當スル額ヲ民政署長ニ提供スヘシ前項ノ建築保證金ハ工事竣功検査ニ合格シタル後之ヲ借地人ニ還付ス

第十二條中 及前納地代ヲ前納地代及第四條ノ一二依ル保證金還付ニ改ム

第十四條 第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 第四條又ハ第四條ノ一二違反シタルトキ若ハ豫定建築期間ヲ經過スルモ尙工事竣功セサルモ尙工事竣功セサルトキ

第十四條ノ一 借地人第四條ニ違反シ又ハ豫定建築期間ヲ經過スルモ尙工事竣功セサル爲借地權ノ全部又ハ一部ヲ取消サレタルトキハ建築保證金ハ官ニ於テ之ヲ沒收ス

第五條第六條第七條第十九條及第二十條中 軍政長官ヲ民政署
長ニ改ム

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ家屋其ノ他建築ノ爲土地ノ貸下ヲ受ケ其ノ設
計ノ建築工事ニ著手セサル者ハ本令施行ノ日ヨリ一箇月以內ニ
第四條ノ一ニ依リ建築保證金ヲ提供スヘシ

軍軍令第二十號

大正六年五月軍軍令第十三號青島守備軍對敵取引禁止規則中左
ノ通改正ス

大正八年五月三十一日

青島守備軍司令官 大島 健一

第二條中第四號ヲ削リ第五號ヲ第四號ニ改ム

第三條第一項第一號中乃至第四號ヲ及第三號ニ改ム

第三條第一項ニ左ノ一號ヲ加ヘ第三號ヲ第四號ニ改ム

第三條第一項ニ左ノ一號ヲ加ヘ第三號ヲ第四號ニ改ム

三 敵國人又ハ敵國法人ニシテ帝國內、帝國占領地域內又ハ敵

地內ニ住所、居所又ハ事務所ヲ有セサルモノヲ當事者トスル

取引又ハ其ノ者ノ爲ニスル取引但シ其ノ取引カ帝國內又ハ帝

國占領地域內ニ在ル敵國人又ハ敵國法人ノ財産ニ關セサル場

合ニ限ル

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ帝國內又ハ帝國占領地域內ニ住所、居所又ハ
事務所ヲ有スル敵國人又ハ敵國法人カ本令施行後之ヲ有セサル

ニ至リタル場合ト雖第三條第三號ノ規定ノ適用ニ付テハ仍之ヲ
有スルモノト看做ス

倫敦銀塊相場

(大正八年
五月申)

一日	四十八片十六分三十二	五十八片	廿三日	五十一片四分三
二日	四十八片十六分三十二	五十五片二分一	廿四日	五十一片八分三
三日	同	五十四片	廿五日	日曜
四日	日曜	五十三片八分七	廿六日	五十一片八分五
五日	四十八片十六分三十二	五十四片	廿七日	五十二片四分一
六日	四十八片十六分九	五十三片二分一	廿八日	五十二片二分一
七日	四十八片八分五	日曜	廿九日	同
八日	同	五十三片八分一	三十日	同
九日	五十三片二分一	五十二片八分七	卅一日	同
十日	五十八片	五十一片	廿二日	五十一片四分一
十一日	日曜	五十一片四分一		

寄贈書類

(四月及五月
到著ノ分)

○仙臺商業會議所月報	第六五號	第六六號	仙臺商業會議所
○門司商工會月報	第七〇號	第七一號	門司商工會
○工業之日本	第一六卷第參號		工業之大日本社
○岐阜商報	第六二號	第六三號	岐阜商業會議所
○天津商業會議所週報	自第一一三號	至第一一四號	天津商業會議所
○青島市民會々報	第三號	第四號	青島市民會
○保險銀行時報	自第九二二號	至第九二三號	保險銀行時報社
○山東公論	第四五號	第四六號	山東公論社
○仁川商業會議所月報	第一〇八號		仁川商業會議所

- | | | | | | |
|--------------|---------------------|-----------|-----|----|-----|
| ○大 | 陸 | 第七卷 | 第五號 | 大連 | 大陸社 |
| ○橫濱商業會議所月報 | 第二七〇號 | 橫濱商業會議所 | | | |
| ○名古屋商業會議所月報 | 第一四四號 | 名古屋商業會議所 | | | |
| ○大阪商業會議所貿易週報 | 第一四三號 | 大阪商業會議所 | | | |
| ○神戸商業會議所時報 | 第五卷 第參號 | 神戸商業會議所 | | | |
| ○岡山商工彙報 | 第一一三三號 | 岡山商工彙報社 | | | |
| ○日本商業會議所週報 | 自第三三七一號
至第三七四號 | 上海日本商業會議所 | | | |
| ○上海經濟時報 | 自第六六一號
至第六四一號 | 上海經濟時報社 | | | |
| ○上海 | 自第三二七號
至第三二七號 | 上海春申社 | | | |
| ○工業之大日本 | 第一六卷第五號 | 大阪工業之大日本社 | | | |
| ○日本商業會議所年報 | 第一第三七〇號
(週報臨時增刊) | 上海日本商業會議所 | | | |
| ○青島港貿易統計 | 三月 | 青島守備軍司令部 | | | |
| ○開城新報 | 自第五六一號
至第五六三號 | 開城新報社 | | | |
| ○函館商業會議所所報 | 第一五七號 | 函館商業會議所 | | | |
| ○內外商工時報 | 第六卷 第五號 | 農商務省商品進列館 | | | |
| ○下關商業會議所月報 | 第八二號 | 下關商業會議所 | | | |
| ○經濟資料 | 第五卷 第五號 | 東亞經濟調查局 | | | |
| ○朝鮮經濟雜誌 | 第四〇號 | 京城商業會議所 | | | |
| ○大田實業協會會報 | 第一號 | 大田實業協會 | | | |
| ○東京商業會議所々々 | 第一三號 | 東京商業會議所 | | | |
| ○東洋殖民新聞山東版 | 第八年 第三四號
第三五號 | 東洋殖民新聞社 | | | |
| ○平壤商業會議所月報 | 第二八號 | 平壤商業會議所 | | | |
| ○上海遠東時報 | 第十五卷第五號 | 上海遠東時報社 | | | |
| ○通商彙報 | 第二七號 | 大阪府立商品陳列館 | | | |
| ○日本綿花週報 | 第一五〇號 | 日本綿花週報社 | | | |
| ○大日本紡績聯合會月報 | 第三二〇號 | 大日本紡績聯合會 | | | |

- 北支那貿易年報 大正六年 南滿洲鐵道株式會社
- オムスク市とオムスク政府 調查資料第八輯 右同
- 商工時報 第二〇號 大阪市役所商工課
- 宇都宮商業會議月報 第一八〇號 宇都宮商業會議所
- 鐵工時報 第五年第一〇號 東京鐵工時報社
- 熊本商業會議所月報 第三五號 熊本商業會議所
- 滿蒙實業彙報 第四七號 大連商業會議所



品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
麻	新同舊撫博 順山川	大小炭炭炭炭	一 枚	銀 330 金 350	△ 20
		"	"	銀 300 金 330	△ 30
		"	"	銀 250 金 280	△ 30
		一 噸	銀 16,500	16,500	×
	塊塊塊塊	"	銀 15,000	15,000	×
		"	銀 12,000	12,000	×
		"	"	"	"
		"	"	"	"

品名	建 物	單 位	本月ノ價格	前月ノ價格	比 較
牛 骨	油	百 斤	銀 1,800	金 2,000	金△ 200
牛 油		"	銀 16,000	17,200	△ 1,209
(建築材料)					
石 灰	粉	百 斤	銀 650	650	×
石 灰		十 貫	銀 2,700	2,650	□ 50
石	材	普通花崗石	銀 —	—	—
		三才以上ノモノ平均	銀 400	400	×
		三才ヨリ六才平均	銀 450	450	×
		三才以上ノモノ平均	銀 —	—	—
		三才以上ノモノ平均	銀 600	600	×
		三才ヨリ六才平均	銀 700	700	×
		三才ヨリ六才平均	銀 9,000	9,000	×
		日本型機械赤	銀 8,000	8,000	×
		鱗瓦屋根瓦	銀 30,000	30,000	×
		中葺屋根瓦	銀 60,000	60,000	×
煉 瓦	類	黑 煉 瓦	銀 7,500	7,500	×
		手押煉瓦 (支那型)	銀 8,000	8,000	×
		鴨綠白紅松 一連	銀 22,000	23,000	△ 1,000
		同 二連	銀 26,000	26,500	△ 500
		同 三連	銀 29,000	30,000	△ 1,000
		同 四連	銀 30,000	30,000	×
		鴨綠江赤松 一連	銀 29,000	29,000	×
		同 二連	銀 31,000	31,000	×
		同 三連	銀 32,000	32,000	×
木	材	鴨綠白紅松 一連	銀 22,000	23,000	△ 1,000
		同 二連	銀 26,000	26,500	△ 500
		同 三連	銀 29,000	30,000	△ 1,000
		同 四連	銀 30,000	30,000	×
		鴨綠江赤松 一連	銀 29,000	29,000	×
		同 二連	銀 31,000	31,000	×
		同 三連	銀 32,000	32,000	×
		鴨綠白紅松 一連	銀 22,000	23,000	△ 1,000
		同 二連	銀 26,000	26,500	△ 500
		同 三連	銀 29,000	30,000	△ 1,000
蔬 菜 及 果 實 類	類	紅 大 根	金 5,000	—	—
		大 馬 蹄	金 4,500	4,500	×
		牛 摩 芋	金 10,000	11,200	△ 1,200
		人 蔘	金 3,500	3,800	△ 300
		蜜 柑	金 3,500	3,000	△ 500
		菠 蘿	金 150	150	×
		菠 蘿	金 250	—	—
		雙 虎 十 六 手	銀 168,000	169,500	△ 1,500
		紅 團 龍	銀 166,000	167,000	△ 1,000
		丹 鳳	銀 167,000	168,000	△ 1,000
綿	絲	銀 月	銀 175,500	175,500	×
		紅 月	銀 172,500	174,500	△ 2,000

品名	建	物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
(支那品) 農畜產及加工品						
白米	上海	一等品	百五十斤入	銀 8,500	金 8,000	金 □ 500
	同	二等品	"	銀 6,300	6,600	△ 300
	同	三等品	"	銀 5,500	5,900	△ 400
高粱	滿洲	一等品	百斤	銀 2,400	2,300	□ 100
	同	二等品	"	銀 2,300	2,200	□ 100
	同	三等品	"	銀 2,100	2,000	□ 100
大小麥			"	銀 2,000	1,900	□ 100
			"	銀 3,900	3,500	□ 400
黃落花生			"	銀 3,200	3,200	×
	無殼	品	"	銀 7,600	6,700	□ 900
	兵船	一等品	"	銀 2,250	2,180	□ 70
	同	二等品	"	銀 2,150	2,080	□ 70
	同	三等品	"	銀 1,500	1,400	□ 100
麥粉	綠魚	一等品	"	銀 2,400	2,200	□ 200
	同	二等品	"	銀 2,250	1,100	□ 150
	同	三等品	"	銀 1,400	1,100	□ 300
棉落花生油			"	銀 27,000	24,300	□ 2,700
			"	銀 19,000	16,400	□ 2,600
豆油			"	銀 13,400	11,100	□ 2,100
豆粕			"	銀 2,900	2,900	×
羊肉			一百磅目	銀 250	250	×
			"	銀 200	200	×
			"	銀 180	180	×
牛肉	上中		"	銀 160	160	×
	下		"	銀 300	300	×
			"	銀 300	300	×
豚肉			"	銀 17,000	13,000	□ 4,000
鷄肉			"	銀 33,000	33,000	×
	大	上	千百個斤	銀 30,000	30,000	×
	大大	中	"	銀 29,000	29,000	×
	大中	上	"	銀 31,000	31,000	×
	中中	中	"	銀 30,000	30,000	×
	中中	下	"	銀 29,000	29,000	×
牛皮	小小	上	"	銀 37,000	37,000	×
	小小	中	"	銀 36,000	36,000	×
	小小	下	"	銀 35,000	35,000	×

品名	建	物	單	位	本月ノ價格	前月ノ價格	比	較
木	材	同 二寸ノ三寸	一	本	銀 700	金 700	金×	円
		同 三 寸 角	"	"	銀 1,000	1,000	×	
		同 四 寸 角	"	"	銀 1,760	1,760	×	
		中横三寸四分ノ五分	一	板	銀 230	230	×	
		大横三寸七分ノ七分	"	"	銀 330	330	×	
		木 摺	一	坪	銀 1,000	1,000	×	
		鹽 地 柚 角	一	才	銀 130	130	×	
		栓 柚 角	"	"	銀 130	130	×	
		樽 柚 角	"	"	銀 130	130	×	
		桂 角	"	"	銀 120	120	×	
雜	貨	櫻 角 { 樺 太	"	"	銀 130	130	×	
		角 { 內 地	"	"	銀 160	160	×	
		菊 花 四十二手燃絲	一	表	銀兩 305,000	330,000	△	25,000
		日 鳥 二 十 手	"	"	銀兩 192,000	181,000	□	11,000
綿	絲	扇 面 十 六 手	"	"	銀兩 175,000	177,000	△	2,000
		金三馬 同	"	"	銀兩 175,000	175,000	×	
		藍 魚 同	"	"	銀兩 177,000	177,000	×	
		九 龍	一	疋	銀兩 5,900	6,200	△	300
綿	布	龍 C	"	"	銀兩 5,800	6,100	△	300
燐	寸	太 鼓 天 竺	"	"	銀兩 3,450	3,450	×	
		得 寶 寶 牌	一	大 箱	銀兩 31,500	30,000	□	1,500
		雜 金 牌	"	"	銀兩 31,000	29,000	□	2,000
石	油	青 金 勝	一	箱	銀 5,600	5,600	×	
		赤 金 勝	"	"	銀 5,500	5,500	×	
		美 亞 僧	"	"	銀 6,250	6,250	×	
		美 亞 僧	"	"	銀 6,150	6,150	×	
石	粉	亞 細 亞 福	"	"	銀 5,850	5,850	×	
		辛 福	"	"	銀 6,200	5,200	×	
		星	"	"	銀 6,300	6,300	×	
		姪 松 塊	一	噸	銀 17,500	17,500	×	
石	炭	若 綠 兵 小	一	貫	銀 17,500	17,500	×	
		人 吉 角	一	六	銀 2,250	2,250	×	
		同 同 角	"	"	金 3,200	3,350	△	150
		同 同 角	"	"	金 3,100	3,250	△	150
木	炭	同 同 角	"	"	金 2,800	3,050	△	250
		同 同 角	"	"	金 2,500	2,750	△	250

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
鯉	節	上中下龜松	金 1,300	金 1,300	金 ×
		"	金 1,200	1,200	×
		"	金 1,100	1,100	×
		"	金 1,200	1,200	×
		一 罐	金 650	650	×
罐詰	類	印茸	金 400	500	△ 100
		"	金 380	380	×
		貝	金 380	380	×
		サ エ	金 450	450	×
大豆	豆	一 升	金 400	400	×
小豆	豆	"	金 450	450	×
元割	豆	"	金 700	700	×
挽櫻	麥	角花	金 880	380	×
		割割	金 360	360	×
		"	金 350	350	×
麥片	麥	"	金 370	370	×
トード	粟	"	金 150	150	×
(建築材料)	ツ	三 磅 入	金 1,500	1,500	×
		"	金 1,500	1,500	×
丸鐵	鐵板	5/16"-3/4" 平均	銀 4,300	4,650	△ 350
		十 三 入 3'×6'	品切レ 銀 1,100	1,100	—
		五 入 二 厘 3'×6'	銀 2,550	2,520	□ 30
		平板 #30-3'×6'	銀 2,120	2,000	□ 120
		同上 #26-3'×6'	銀 2,380	2,280	□ 100
亞鉛	板	浪板 #30-3'×6'	銀 1,630	1,720	□ 80
		同上 #26-3'×6'	銀 2,100	2,100	×
		"	銀 16,100	16,800	△ 700
洋釘	釘	1"-5"	銀 3,300	3,300	×
		白鉛	銀 7,000	7,000	□ 400
セメント	小野田	普四 分板	銀 5,200	6,000	△ 800
		二間 正四 分板	銀 1,100	1,100	×
		同 正六 分板	銀 1,600	1,600	×
		同 正一 寸板	銀 2,400	2,400	×
		同 正一 寸五分角	銀 3,900	3,900	×
木	材	一 本	銀 380	380	×
		二 寸 角	銀 480	480	×

青島物價表 (四月三十日)

□印騰貴 △印下落 ×印保合

品名	建物	單位	本月ノ價格	前月ノ價格	比較
白糯米	印特撰赤	一石	金 46,000	金 47,000	金△ 1,000
	" " 青	"	金 44,000	45,000	△ 1,000
	" " 黑	"	金 43,000	44,000	△ 1,000
	特撰一	"	金 53,000	53,000	×
	特撰二	"	金 52,000	52,000	×
清酒	白真	鶴 四斗五升入一樽	金 57,000	57,000	×
	東正	鶴 " "	金 53,000	53,000	×
	キリ	宗 " "	金 49,000	49,000	×
	アサ	レ 四打入一箱	金 15,000	15,000	×
		ヒ " "	金 14,500	14,500	×
飲料	サツボ	ロ " "	金 14,500	14,500	×
	サク	ラ " "	金 12,500	12,500	×
	シトロ	ン " "	金 7,800	7,800	×
	三ッ矢	サ イダー " "	金 9,500	9,500	×
	正喜	撰 一 斤	金 1,100	1,100	×
茶	青川	柳 " "	金 600	900	×
	白中	柳 " "	金 500	500	×
	龜甲	白萬 " "	金 200	200	×
	龜甲	一斗入一樽	金 190	190	×
	龜澤	寶 " "	金 6,500	6,500	×
醬漬物	梅奈樂	寶庵 百 目	金 6,300	6,300	×
	瓦京	干漬漬 " "	金 150	150	×
		干漬漬 " "	金 200	200	×
		干漬漬 " "	金 400	400	×
		干漬漬 " "	金 150	150	×
乾物類	干椎昆	瓢葺 " "	金 300	300	×
	豆蒟	布 " "	金 2,500	2,500	×
		腐 " "	金 250	250	×
		十 個	金 250	250	×
		腐 " "	金 200	200	×
錫	劍二	先 百 目	金 2,500	2,500	×
		" " "	金 1,000	1,200	△ 200

市 內 三 驛 乘 降 客 (四 月 中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	175	183	1,425	1,593	16,954	27,241	18,554	29,017
大 港 驛	35	8	200	34	7,540	549	7,775	591
合 計	210	191	1,625	1,627	24,494	27,790	26,329	29,608
一 月 以 降 累 計	698	637	3,218	4,535	1000,836	144,647	104,752	149,819

青 島 屠 獸 場 屠 殺 數 (五 月 中)

日	次	牛	犢	豚	羊	山 羊	計
二	日	120	1	22	—	—	143
三	日	280	—	40	2	—	322
四	日	7	—	—	—	—	7
五	日	159	—	25	—	—	184
六	日	210	1	90	2	—	303
八	日	255	—	22	2	—	279
九	日	73	—	16	1	—	110
十	日	205	—	32	1	—	238
十	二 日	20	—	20	1	—	41
十	三 日	62	1	23	1	—	87
十	四 日	28	—	20	2	—	50
十	五 日	14	1	23	1	—	39
十	六 日	62	1	20	1	—	84
十	七 日	12	—	38	3	—	53
十二	九 日	258	1	22	—	—	281
十二	十一 日	36	—	17	1	—	54
廿	十一 日	4	—	22	1	—	27
廿	十二 日	9	—	20	1	—	30
廿	十三 日	11	1	22	—	—	34
廿	十四 日	39	—	42	3	—	84
廿	十六 日	14	1	26	2	—	43
廿	十七 日	7	—	24	—	—	31
廿	十八 日	27	—	22	4	—	53
廿	十九 日	10	—	24	3	—	37
三	十一 日	11	—	49	2	—	62
卅	十一 日	33	2	159	6	—	200
合 計		1,986	10	840	40	—	2,876
一 月 以 降 累 計		21,610	22	4,581	263	6	26,482

青島港出入船舶旅客

(四 月 中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國 籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其 ノ司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	臺 灣	天 津	安 東 縣	浦 鹽	マ ル セ ユ	石 臼 所	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男女	283 143	310 273	661 439	40 6	28 19	— —	— —	1 1	2 —	— —	— —	1 —	6 —	— —	— —	— —	— —	1,332 881
支 那 人	人	2,210 286	26 1	8 —	205 31	47 2	229 37	47 6	18 —	653 113	43 1	560 —	581 69	70 4	1,211 216	385 122	47 13	234 96	6,574 997
英 國 人	人	— —	— —	— —	2 2	— —	1 —	— —	1 —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	5 2
米 國 人	人	— —	— —	— —	— 2	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 2
露 國 人	人	22 15	— —	— —	6 1	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	28 16
和 蘭 人	人	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
佛 國 人	人	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
希 臘 人	人	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
ルーマニア人	人	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —
合 計	計	2,518 444	336 274	669 439	254 42	75 21	230 37	47 6	20 1	655 113	44 1	560 1	582 69	76 4	1,211 216	385 122	47 13	234 96	7,943 1,899
	計	2,962	610	1,108	296	96	267	53	21	768	45	561	651	80	1,427	507	60	330	9,842

出 港 乗 船 ノ 部

國 籍	男女別	大連	大神 阪戸	門其 ノ司他	上 海	朝 鮮	芝 罘	臺 灣	廣 東	安 東 縣	浦 鹽	マ ニ ラ	石 臼 所	海 州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男女	243 91	137 120	387 212	26 5	26 2	4 —	3 1	1 —	— —	— —	— —	1 —	6 —	— —	— —	— —	— —	834 431
支 那 人	人	5,409 527	21 1	8 —	261 55	— —	478 83	— —	— —	533 131	19 —	— —	210 16	106 19	345 88	103 69	28 7	107 15	7,628 1,011
英 國 人	人	— —	— —	— —	2 4	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	3 5
米 國 人	人	— —	— —	— —	1 1	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 1	— —	— —	— —	— —	— —	— —	2 2
露 國 人	人	3 2	1 —	2 1	1 —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	7 3
白 耳 義 人	人	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	— —	1 —	— —	— —	— —	— —	1 —
合 計	計	5,655 629	159 121	397 213	291 65	26 2	483 84	3 1	1 —	533 131	19 —	1 1	211 16	113 19	345 88	103 69	28 7	107 15	8,475 1,452
	計	6,275	280	610	356	28	567	4	1	664	19	2	227	132	433	172	35	122	9,927

汽 船 仕 出 地 別 (同 上)

仕 向 地	日 本 船			英 國 船			米 國 船			和 蘭 船			露 國 船			支 那 船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日 本 內 地	33	24,748	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	24,748	—
大 連	14	13,557	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	13,557	—
上 海	13	9,485	7	8,625	—	—	—	—	—	1	1,119	—	—	—	—	—	—	—	21	19,229	—
芝 罘	—	—	1	1,333	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,511	—	—	—	—	2	2,844	—
天 津	—	—	1	1,262	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,262	—
其ノ他支那諸港	12	1,708	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	355	—	17	2,063	—
臺 灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜 山	1	519	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	519	—
仁 川	3	1,278	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,278	—
其 他 朝 鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香 港	1	1,729	2	6,488	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	8,217	—
麻 呢 刺 鹽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
浦 羅 鹽	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—
其ノ他外國	2	1,418	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	1,418	—
合 計	79	54,442	11	17,708	1	2,510	1	1,119	1	1,511	5	355	98	77,645	—	—	—	—	—	—	—

入 港 汽 船 揚 荷 噸 數 (四 月 中)

汽船國籍別	日 本 內 地				朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	其他外國	マニラ	浦羅	計
	大 神	阪 戶	門 司	其ノ他												
日 本	9,874.8	3,933.4	108.3	180.0	1,614.6	5,983.2	—	—	4.4	2,949.2	776.7	393.2	—	—	—	25,822.8
英 國	—	—	—	—	—	—	2,459.9	17.8	535.7	48.7	1,449.6	239.0	—	—	—	4,750.7
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
和 蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2,353.0	—	—	—	2,353.0
露 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	11.8	—	—	—	11.8
支 那	—	—	—	—	—	—	—	—	—	897.0	—	—	—	—	—	897.0
合 計	9,874.8	3,933.4	108.3	180.0	1,614.6	8,448.1	17.8	540.1	3,894.9	2,225.3	2,997.0	—	—	—	—	33,935.3

出 港 汽 船 積 荷 噸 數 (四 月 中)

汽船國籍別	日 本 內 地				朝鮮	臺灣	大連	上海	芝罘	天津	其ノ他支那港	香港	浦羅	マニラ	其他外國	計
	大 神	阪 戶	門 司	其ノ他												
日 本	19,380.6	16,399.8	5,570.2	109.5	1,620.9	5,424.5	135.5	237.5	32.8	—	38.6	—	—	—	—	48,949.9
英 國	—	—	—	—	—	—	1,267.8	10.1	1,493.6	218.1	—	—	—	—	—	2,989.6
米 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	172.5	—	—	172.5
和 蘭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
露 國	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	419.7	—	—	—	419.7
支 那	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	19,380.6	16,399.8	5,570.2	109.5	1,620.9	6,692.3	145.6	237.5	1,526.4	218.1	458.3	172.5	—	—	—	53,177.5

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
機車	輛	—	—	—	2.2	—	2.2
桐材	〃	0.3	—	—	5.0	—	5.3
其他木材	〃	718.1	18.5	—	—	—	736.6
其ノ他木	〃	7.8	—	—	1.1	—	8.9
麥稈	〃	545.9	—	—	21.6	—	567.5
家具	〃	3.3	6.4	—	3.7	—	13.4
豆	粕	4,198.9	—	—	—	—	4,198.9
燐	寸	—	—	—	—	—	—
セメソト	〃	—	—	—	—	—	—
石	〃	—	—	—	—	—	—
貴重	〃	—	—	—	18.6	—	18.6
其他	〃	1,051.1	3.1	—	49.5	6.8	1,110.5
合計	〃	35,780.4	5,570.2	109.5	10,222.7	848.9	52,531.7

汽船仕向地別 (四月中)

仕出地	日本船			英國船			米國船			和蘭船			露國船			支那船			計		
	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數	隻數	登噸	簿數
日本內地	33	25,240	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33	25,240	—
大連	14	11,221	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	14	11,221	—
上海	12	10,696	10	16,919	—	—	—	—	1	1,119	—	—	—	—	—	—	—	—	23	28,734	—
芝罘	—	—	1	1,173	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,173	—
天津	1	962	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	962	—
其ノ他支那諸港	12	1,860	1	832	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	355	—	18	3,047	—
臺灣	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釜山	5	2,534	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	2,534	—
仁川	3	1,278	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1,278	—
其他朝鮮	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香港	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麻呢	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	2,510	—
浦鹽	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1,511	—	—	—	—	—	1	1,511	—
其ノ他外國	1	941	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	941	—
合計	81	54,732	12	18,924	1	2,510	1	1,119	1	1,119	1	1,511	5	355	101	79,151					

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
煙草	噸	—	—	—	36.5	—	36.5
煙草	〃	—	—	109.5	1,914.8	—	2,024.3
獸骨	〃	716.9	—	—	—	0.4	717.3
骨粉	〃	154.6	—	—	—	—	154.6
牛皮	〃	225.6	—	—	2.3	—	227.9
其ノ他獸皮	〃	—	—	—	—	—	—
羊毛	〃	13.0	—	—	—	—	13.0
豚毛	〃	—	—	—	—	—	—
花生油	〃	4,143.7	—	—	642.3	37.1	4,823.1
豆油	〃	324.0	—	—	—	—	324.0
牛脂	〃	387.2	0.7	—	12.9	25.5	426.3
豚脂	〃	—	—	—	—	—	—
蓖麻子油	〃	—	—	—	—	—	—
其ノ他油類	〃	—	—	—	1.3	—	1.3
藥品	〃	11.7	—	—	3.0	7.4	22.1
染料及塗料	〃	—	—	—	3.9	—	3.9
綿絲	〃	33.9	—	—	68.8	—	102.7
絹絲	〃	—	—	—	9.9	—	9.9
絹屑	〃	—	—	—	7.8	—	7.8
麻	〃	2.2	—	—	18.5	—	20.7
棉花	〃	0.1	—	—	64.0	—	64.1
繭(屑ヲ含ム)	〃	153.0	—	—	—	—	153.0
綿布	〃	—	0.7	—	81.6	—	82.3
絹布	〃	—	4.6	—	37.7	6.6	47.9
麻袋	〃	—	—	—	—	0.2	0.2
紙類	〃	—	—	—	6.5	—	6.5
溜川炭	〃	855.0	—	—	150.0	—	1,005.0
博山炭	〃	2,580.0	—	—	3,825.0	—	6,405.0
撫順炭	〃	—	—	—	—	—	—
日本炭	〃	—	—	—	—	—	—
開平炭	〃	—	—	—	—	—	—
陶磁器	〃	1,726.1	—	—	60.0	—	1,786.1
硝子及同製品	〃	4.9	—	—	43.1	—	48.0
鐵(古鐵ヲ含ム)	〃	25.5	—	—	1.5	—	27.0
真鍮塊	〃	22.5	—	—	—	—	22.5
其ノ他金屬	〃	—	—	—	—	—	—
金屬製品	〃	8.4	2.1	—	0.6	—	11.1

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
阿片	片	—	—	—	—	—	—
石油	空	103.9	—	—	—	—	103.9
箱材	料	333.0	4.3	—	255.5	—	592.8
貴重	品	0.6	—	—	1.3	—	1.9
其ノ他	他	797.4	9.7	—	725.1	1,005.0	2,537.2
合計	計	13,898.2	108.3	180.0	14,515.5	5,223.3	33,835.3

埠頭船積貨物噸數仕向地別 (四月中)

品目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
生牛	噸	20.0	—	—	—	—	20.0
其ノ他動物	〃	2.5	—	—	2.3	—	4.8
落花生	實	4,580.4	10.6	—	2,486.4	104.1	7,181.5
豆類	〃	18.6	1.0	—	15.4	—	35.0
小麥	〃	6,083.0	—	—	—	—	6,083.0
其ノ他穀類及種子	〃	1,178.1	—	—	15.6	2.2	1,195.9
麥粉	〃	—	352.3	—	—	—	352.3
蔬菜	〃	—	13.3	—	—	41.0	54.3
果實	〃	1.0	12.5	—	48.8	73.7	136.0
核子	〃	—	—	—	—	—	—
白砂	糖	—	—	—	6.9	—	6.9
赤砂	糖	—	—	—	—	—	—
冰砂	糖	73.5	—	—	0.1	—	73.6
鮮魚	介	—	—	—	—	—	—
其ノ他海產物	〃	0.8	—	—	8.2	—	9.0
牛肉	〃	366.9	2.7	—	33.7	495.1	898.4
鹽豚	〃	—	—	—	—	3.4	3.4
其他獸肉	〃	—	—	—	—	—	—
豆素	〃	—	—	—	—	—	—
鷄卵	〃	197.6	1.8	—	—	45.4	244.8
卵製	品	39.4	—	—	112.9	—	152.3
麥酒	〃	0.3	—	—	373.1	—	373.4
其ノ他酒類	〃	—	—	—	—	—	—
鹽	〃	5,300.0	5,129.4	—	—	—	10,429.4
其ノ他食料品	〃	4.6	10.5	—	24.6	—	39.7

品 目	單位	日本內地	朝鮮	臺灣	支那	其ノ他外國	計
皮革類	"	3.4	—	—	8.7	1.0	8.1
石油	"	200.0	—	—	—	2,317.5	2,517.5
桐油	"	—	—	—	4.7	—	4.7
其他油類	"	15.9	—	—	92.8	—	108.7
蠟燭	"	—	—	—	119.7	—	119.7
石鹼	"	81.8	—	—	81.5	0.2	163.5
燐品	"	162.3	—	—	231.4	163.0	556.7
燐寸	"	1,735.0	—	—	—	—	1,735.0
染料及塗料	噸	49.1	—	—	99.4	120.3	268.8
綿絲	"	794.6	—	—	2,240.6	49.1	3,084.3
絹絲	"	—	—	—	2.7	—	2.7
麻絲	"	1.1	—	—	—	—	1.1
棉花	"	—	—	—	73.6	—	73.6
綿布	"	657.0	—	—	334.4	48.0	1,039.4
絹布	"	—	—	—	0.6	—	0.6
麻袋	"	220.3	—	—	56.2	14.7	291.2
洋物雜貨	"	506.5	—	—	26.2	25.0	557.7
日本紙	"	68.1	—	—	2.8	—	70.9
洋紙	"	25.9	—	—	10.6	2.5	39.0
支那紙	"	—	—	—	1,092.9	4.1	1,097.0
石炭	"	—	—	—	300.0	—	300.0
セメント	"	121.6	—	—	589.2	—	710.8
煉瓦及瓦	"	50.7	—	—	—	—	50.7
陶磁器	"	161.6	—	—	7.1	—	168.7
硝子及同製品	"	582.0	—	—	3.6	—	585.6
鐵(古鐵ヲ含ム)	"	1,074.0	—	—	53.8	333.5	1,461.3
其他金屬	"	16.0	—	—	244.0	—	260.0
金屬製品	"	718.4	—	—	127.4	44.1	889.9
機械	"	170.8	—	—	82.7	—	253.5
電氣用品	"	118.0	—	—	13.0	—	131.0
車輛	"	14.3	1.5	—	13.0	—	28.8
竹材	"	10.8	—	—	1,515.9	—	1,526.7
木材(板ヲ含ム)	"	2,636.1	—	—	4,001.9	11.3	6,649.3
燐寸材料	"	859.7	—	—	224.6	—	1,084.3
木炭	"	55.6	—	—	24.6	—	80.2
蔬菜類	"	119.8	—	—	35.7	—	155.5
家具	"	20.6	9.1	0.9	8.0	—	38.6
豆粕	"	—	—	—	97.3	—	97.3

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
騾 及 驢 馬	{ "	—	—	—	—	—	—	—
馬	{ "	—	—	—	—	—	—	—
牛	{ "	2	—	—	—	—	—	2
	{ "	—	—	—	—	—	—	—
	{ "	3,657	—	—	—	—	—	3,657
合 計	{ "	7,149.7	352.1	1,545.9	—	3,985.4	168.3	12,301.4
	{ "	5,644.1	123.8	12,260.7	5.1	16,309.2	0.1	34,343.0

埠頭陸揚貨物噸數仕出地別 (四 月 中)

品 目	單 位	日 本 內 地	朝 鮮	臺 灣	支 那	其ノ他外國	計
白 米	噸	—	34.0	—	84.3	—	118.3
豆 類	"	14.1	3.4	—	18.3	—	35.8
高 粱	"	—	—	—	—	—	—
蜀 黍	"	—	—	—	—	—	—
小 麥	"	—	—	—	0.2	—	0.2
其ノ他穀類及種子	"	0.8	—	—	80.1	1.3	82.2
麥 粉	"	—	—	—	85.8	—	85.8
蔬 菜	"	38.8	6.0	—	1.3	—	46.1
果 實	"	112.0	—	—	10.2	3.7	125.9
茶	"	18.0	—	—	151.0	—	169.0
白 砂 糖	"	30.0	—	179.1	99.8	91.0	399.9
赤 砂 糖	"	—	—	—	17.8	256.3	274.1
冰 砂 糖	"	54.4	—	—	1.8	26.8	83.0
鮮 魚 介	"	24.8	—	—	0.3	—	25.1
昆 布 及 海 草	"	8.7	—	—	—	—	8.7
其ノ他海產物	"	21.1	0.1	—	15.2	644.7	681.1
日 本 酒	"	115.5	3.0	—	2.8	—	121.3
洋 酒	"	23.0	—	—	7.7	—	30.7
支 那 酒	"	—	—	—	12.9	5.6	18.5
麥 酒	"	43.1	—	—	3.0	—	46.1
清 涼 飲 料	"	34.4	—	—	71.9	—	106.3
醫 油	"	16.8	11.1	—	10.6	—	38.5
味 噌	"	6.7	9.4	—	8.4	—	24.5
其ノ他食料品	"	187.7	8.9	—	93.7	47.7	338.0
煙 草	"	572.4	7.8	—	940.9	6.9	1,528.0

品目	單位	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
羊	毛	發著	—	—	—	—	0.1	0.1
獸	骨	—	—	—	—	—	—	—
牛	皮	159.7	—	136.1	—	14.7	—	310.5
		—	0.8	—	—	—	—	0.8
		38.3	10.3	5.2	—	18.3	—	72.1
豚	皮	—	—	—	—	—	—	—
		—	1.2	—	—	—	—	1.2
魚	類	334.4	38.0	48.4	—	75.0	—	495.8
昆布其ノ他海草		—	0.5	—	—	—	—	0.5
		—	—	—	—	—	—	—
筭		—	—	—	—	892.9	—	892.9
		—	—	—	—	—	—	—
木	粉	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)		1,519.3	7.7	6.2	—	81.4	1.0	1,615.6
		58.7	1.0	—	—	—	—	59.7
燐	寸	231.3	1.1	110.6	—	85.0	—	428.0
		—	—	—	—	—	—	—
燐寸材料		2.2	—	—	—	163.9	—	166.1
		—	—	—	—	—	—	—
火藥類		1.3	0.1	—	—	—	—	1.4
		—	—	—	—	—	—	—
銅	貨	—	—	—	—	—	—	—
		13.9	9.3	—	—	—	—	23.2
青銅	錢	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.4	—	—	—	—	0.4
銅		1.2	2.6	—	—	15.0	—	18.8
		—	0.3	—	—	—	—	0.3
家	具	4.6	0.5	—	—	—	—	5.1
		—	2.6	—	0.2	—	—	3.0
麻袋及布袋		94.4	43.5	41.0	—	9.5	—	183.4
		15.1	2.4	—	0.1	—	—	17.6
容器類		19.0	2.0	—	—	—	—	21.0
		78.1	8.4	—	—	11.6	—	98.1
蠟	燭	2.1	1.6	—	—	—	—	3.7
		—	—	—	—	—	—	—
麸	子	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	324.6	—	324.6
鹽	肉	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	328.4	—	328.4
其ノ他		23.6	30.9	69.6	—	55.3	5.8	185.2
		105.9	7.6	284.0	1.8	3.2	—	402.5
豚		—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
羊		—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
油 類(表中記載ノモノヲ除ク)	發 著	8.9 6.3	6.4 2.4	— 6.0	— 0.1	— —	0.1 —	15.4 14.8
油 粕	"	—	—	74.9 444.3	—	3.2 30.0	—	78.1 474.3
肥 料 各 種	"	164.4	0.2	—	—	—	—	164.6
參 稈 眞 田	"	4.1	—	—	—	—	—	4.1
安 平	"	154.4	—	—	—	—	—	154.4
粟 及 稈 稈	"	90.1	—	—	—	—	—	90.1
鹽	"	—	—	—	—	—	—	—
砂 糖	"	1,170.3	3.0	127.4	—	45.0	—	1,345.7
日 本 酒	"	1.3	14.5	0.5	—	—	—	16.3
ビ ー ル	"	4.0	9.2	36.4	—	—	—	49.6
支 那 酒	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
食 料 品(表中記載ノモノヲ除ク)	"	0.4	5.6	—	—	—	—	6.0
乾 物	"	3.6	28.0	—	—	45.0	—	76.6
野 菜	"	3.7	4.2	—	—	—	—	7.9
鷄 卵	"	3.5	2.2	—	—	—	—	5.7
藍 染 塗 料	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
藥 品 及 藥 材	"	43.8	10.2	—	0.1	—	—	54.1
曹 達 鹼	"	8.1	21.0	246.7	2.0	—	—	277.8
石 煙 草	"	—	—	—	—	—	—	—
葉 煙 草	"	20.7	7.8	—	—	—	—	28.5
茶	"	13.4	—	—	—	—	—	13.4
豚 毛	"	9.0	18.5	—	—	30.0	—	57.5
	"	2.3	0.6	—	—	—	—	2.9
	"	23.6	3.7	—	—	—	—	27.3
	"	6.8	1.2	5.6	—	—	—	13.6
	"	49.2	36.5	—	—	—	—	85.7
	"	2.5	0.2	—	—	6.8	—	9.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.5	0.4	115.4	0.1	—	—	120.0
	"	29.0	1.3	—	—	105.1	—	134.4
	"	1.7	—	—	—	—	—	1.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	22.5	0.1	—	—	—	—	22.6

通格
159.9

品 目	單 位	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
麥 粉	發 著	—	0.9	—	—	—	—	0.9
		234.3	0.2	—	—	—	—	234.5
陶 磁 器 及 土 器	"	—	0.8	1.0	—	5.0	—	6.8
	"	19.5	0.1	—	—	—	—	19.6
支 那 紙	"	123.5	0.2	8.2	—	18.0	—	149.9
	"	—	0.7	0.5	—	—	—	1.2
紙 (支那紙ヲ除ク)	"	3.0	1.7	—	—	—	—	4.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
麻	"	—	0.7	—	—	—	—	0.7
	"	63.1	—	—	—	—	—	63.1
綿	"	—	0.5	6.6	—	19.1	—	26.2
	"	25.4	—	30.6	—	—	—	56.0
綿 布	"	442.0	7.5	15.0	—	56.9	—	521.4
	"	—	6.0	—	—	—	—	6.0
綿 絲	"	1,256.7	19.6	29.9	—	3.0	—	1,309.2
	"	—	0.1	201.6	—	—	—	201.7
綿 製 品	"	—	2.5	—	—	—	—	2.5
	"	0.1	3.6	—	—	—	—	3.7
絹 絲 (屑ヲ含ム)	"	0.4	0.2	—	—	—	—	0.6
	"	3.1	0.7	—	—	—	—	3.8
絹 布 類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	4.4	19.2	—	—	—	—	23.6
繭 (屑繭ヲ含ム)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	5.6	—	—	—	5.6
棗	"	—	—	1.0	—	—	—	1.0
	"	8.2	—	10.1	—	—	—	18.3
梨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
乾 柿	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.7	—	—	—	—	—	0.7
胡 桃	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
蜜 柑	"	—	1.4	—	—	—	—	1.4
	"	—	—	—	—	—	—	—
及 西 瓜	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
瓜 子	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.9	0.3	—	—	—	—	1.2
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	24.0	0.4	—	—	—	—	24.4
石 油	"	15.0	0.1	814.6	—	838.2	—	1,717.9
	"	—	—	—	—	—	—	—
落 花 生 油	"	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	"	53.2	—	4,043.7	—	—	—	4,096.9
豆 油	"	—	—	0.2	—	—	—	0.2
	"	46.9	0.4	447.3	—	—	—	494.6
牛 油	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	5.0	1.0	47.9	0.1	15.0	—	69.0

青島三驛發著貨物主要品 (四月中)

(單位噸以下一位獸類頭數)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭	發 著	420.0 1,031.0	— 0.6	105.0 150.0	— 0.2	225.0 6,525.0	—	750.0 7,756.8
コ - ク ス	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	214.0	0.1	30.0	0.1	2,775.0	—	3,019.2
石 灰	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	955.0	—	—	0.1	120.0	—	1,075.1
煉 瓦 (瓦ヲ含ム)	"	54.1	0.1	—	—	—	—	54.2
	"	15.0	—	45.0	—	—	—	60.0
セ メ ン ト	"	8.6	2.4	1.6	—	35.0	—	47.6
	"	—	—	195.0	—	360.0	—	555.0
硝 子 板	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
硝 子 製 品	"	6.1	1.4	3.0	—	7.5	—	18.0
	"	22.6	0.5	—	—	—	—	23.1
桐	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	159.1	—	375.4	—	—	—	534.5
木 材 (板ヲ含ム)	"	273.3	10.6	11.1	—	125.8	—	420.8
	"	46.1	0.2	286.4	—	—	—	332.7
竹 及 割 竹	"	61.9	0.3	—	—	3.0	—	65.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 白	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品	"	—	0.6	—	—	—	—	0.6
	"	—	—	—	—	—	—	—
鐵 板 鐵 製 品	"	247.7	22.9	11.9	—	161.1	1.4	445.0
	"	17.0	1.0	1.0	—	—	—	19.0
鐵 鍋	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	61.8	—	—	—	—	—	61.8
古 鐵	"	449.7	—	1.6	—	15.0	—	466.3
	"	14.7	—	2.0	—	—	—	16.7
大 豆	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	99.4	—	—	—	—	—	99.4
豆 類(大豆ヲ除ク)	"	—	0.6	—	—	—	—	0.6
	"	55.5	—	—	—	—	—	55.5
高 梁	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	0.8	—	14.9	—	—	—	15.7
小 麥	"	28.4	—	—	—	14.8	—	43.2
	"	630.0	—	898.9	0.2	4,232.4	—	5,761.5
米	"	27.5	13.5	12.4	—	—	—	53.4
	"	5.0	—	14.6	—	73.7	—	93.3
穀 類(表中記載ノモノヲ除ク)	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	7.2	0.3	—	—	—	—	7.5
落 花 生	"	—	0.1	2.2	—	—	—	2.3
	"	931.0	—	4,222.5	—	1,372.2	—	6,525.7

品 目	單 位	上 海	芝 罘	大 連	其 他	合 計
綿 織 絲	擔	14,367	3	—	—	14,370
(雜 貨)						
砒 石	擔	882	—	—	—	882
竹 筴	個	351,192	—	—	—	351,192
竹 篾	担	2,548	—	—	—	2,548
筍	〃	222	—	—	—	222
書 籍	〃	86	—	—	—	86
蠟 燭	〃	16	—	44	—	60
米 磁	〃	1,279	—	600	—	1,879
磁 石	〃	9	—	—	—	9
紙 卷 煙 草	〃	2,870	—	231	—	3,101
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	200	—	200
紙 扇	個	223,273	—	—	—	223,273
小 麥 粉 機 械 製	担	1,425	—	2	—	1,427
夏 布 粗 製	担	84	—	—	—	84
同 精 製	〃	20	—	—	—	20
同 藥 桐	〃	324	—	—	84	408
油 品	〃	634	—	—	—	634
紙 一 等	〃	775	—	—	1	776
同 二 等	〃	4,149	—	2	—	4,151
同 錫 箔	〃	1,604	—	—	—	1,604
同 其 他	〃	318	—	—	—	318
糖 三 蒸 酒	〃	121	—	—	4	125
靴 綿 及 絹 製	雙	192	—	—	—	192
生 絲 白	担	321	—	—	—	321
同 絲 黃	担	—	—	—	—	—
同 製 品	斤	12	—	—	—	12
石 鹼 條 形 田	担	892	—	—	—	892
麥 稈 真	担	49	—	—	—	49
砂 糖 (赤)	〃	—	—	—	—	—
同 糖 (白)	〃	—	—	—	—	—
茶 草 刻 品	〃	684	20	—	—	704
煙 草 製	〃	27	—	—	2	29
木 製	〃	327	—	—	—	327

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
梨	担	14	36	—	—	—	—	—	—	50
鹽 豚	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹽 仁	担	153,838	336	—	—	—	—	—	—	154,174
杏 子	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
瓜	"	—	14	—	—	—	—	—	—	14
胡 麻	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生絲 白座	操	—	—	—	—	—	—	3	—	3
同 白再	操	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 白機	械	—	—	—	—	—	—	4	—	4
同 黃座	操	—	—	—	—	—	—	15	—	15
同 黃再	操	—	—	—	—	—	—	14	—	14
同 黃機	械	—	—	—	—	—	—	13	—	13
屑 絲	"	28	—	—	—	—	—	19	—	47
屑 繭	"	94	—	—	—	—	—	—	—	94
生 絲 製 品	"	1	—	—	—	—	—	—	—	1
山 東 絹 紬	"	50	—	—	44	—	—	289	13	396
犬 皮	枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 牛 皮	担	3,725	—	—	—	—	39	—	—	3,764
生 羊 皮	枚	—	—	—	—	—	—	—	—	—
麥稈眞田染色モノ	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 班 色 毛	ノ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 白 色 毛	ノ	1,752	—	—	—	—	4	35	11	1,802
牛 油	"	4,758	—	289	—	—	90	41	—	5,178
蔬 菜	"	—	40	—	—	—	—	—	—	40
豆 麵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胡 桃	"	—	—	—	76	—	—	—	—	76
羊 毛	"	82	—	—	—	—	—	—	—	82

輸入支那品仕出地別 (同 上)

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	6,580	—	—	—	6,580
雲 齊 布(同)	疋	360	—	—	—	360
土 布	擔	69	1	—	—	70
花 色 土 布	擔	650	—	—	—	650

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
醬 油	擔	267	—	—	—	—	—	51	—	318
糖 (赤)	〃	—	—	—	4,338	—	—	—	—	4,338
糖 (白)	〃	270	—	—	150	—	1,350	270	—	2,040
精 製	〃	700	—	—	1,355	—	32	13	—	2,100
冰	〃	610	—	—	435	—	—	25	—	1,080
材 (堅)	立方呎	16,521	—	—	—	—	—	—	—	16,521
材 (軟)	〃	408,185	—	—	—	—	—	18,374	—	426,559

輸 出 支 那 品 仕 向 地 別 (同 上)

品 目	單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
生 牛	頭	46	—	—	—	—	—	—	—	46
豆 粕	担	62,974	—	—	—	—	—	—	—	62,974
黃 豆	〃	—	—	—	—	—	—	2	—	2
牛 肉	クォー タ一担	8,503	—	—	—	3,196	463	50	—	12,217
獸 骨	担	14,261	—	—	—	—	—	—	—	14,261
銅 塊	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
豚 毛	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
氈 帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山 炭	噸	3,497	—	—	—	—	—	3,975	—	7,472
棉 花	担	2	—	—	—	—	29	—	94	125
錫	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
黑 棗	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋 白	〃	98	—	—	—	—	—	327	—	425
蛋 黃	〃	144	—	—	—	—	—	780	—	924
乾 蛋	〃	84	—	—	—	—	—	20	—	104
鷄 卵	個	1,207,100	273,300	—	—	—	—	—	—	1,480,400
麻 担	担	—	—	—	—	—	—	—	107	107
鹽 魚	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
果 鮮	〃	12	63	—	—	—	—	—	—	75
硝 子	〃	—	—	—	—	—	—	177	196	373
落 花	担	18	30	—	—	—	—	—	—	48
同 仁	個	71,868	—	—	450	—	—	9,206	32,850	114,374
頭 髮	〃	24	—	—	—	—	2	—	—	26
麥 蕁 帽	〃	—	—	—	—	—	163	—	—	168
藥 子	〃	—	—	—	35	—	—	17	—	52
豆 油	〃	1,680	—	—	—	—	—	—	—	1,680
落 花 生 油	〃	52,946	—	—	318	—	7,280	—	770	61,314

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
同 (日本品)	担	1,801	—	—	—	—	—	—	—	1,801
磁 石 瓦 器	海關兩	4,668	—	—	—	—	48	—	—	4,716
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	—	—	—	39,253	—	—	39,253
同 (日本品)	〃	1,230	—	—	—	—	—	1,000	—	2,230
掛 置 時 計	個	2,171	—	—	—	—	75	1	—	2,247
石 炭	噸	431	—	—	—	—	—	—	—	431
(染料顏料塗料)										
ア ニ リ ン	海關兩	15	—	—	—	—	858	—	—	873
人 造 藍	担	—	—	—	—	—	3	—	—	3
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	325	—	60	—	—	385
白 鉛 粉	〃	—	—	—	224	—	—	—	—	224
ロ ン グ ソ ー ド	〃	27	—	—	—	—	—	—	—	27
越 幾 斯	〃	27	—	—	—	—	—	—	—	27
電 氣 材 料	海關兩	3,874	—	—	—	—	—	131	—	4,005
珉 瑯 洗 面 器	打	3,104	—	—	—	—	30	—	—	3,134
麥 粉	担	15	—	—	58	—	—	—	—	73
窓 硝 子	箱	646	—	—	—	—	—	—	—	646
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	3,263	—	—	—	—	432	—	—	3,695
燐 寸 (黃 燐)	哥	356,546	—	—	—	—	—	—	—	356,546
同 (安 全)	〃	3,200	—	—	—	—	—	—	—	3,200
疊 及 莫 座	枚	34,791	—	—	—	—	297	—	—	35,088
コンデンスミルク	打	60	—	—	—	—	322	120	—	502
針	千 本	118,265	—	—	—	—	—	500	—	118,765
石 油(米品箱入)	ガロン	—	—	3,500	—	—	—	—	—	3,500
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ(裸)	〃	—	—	—	—	693,436	—	—	—	693,436
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙 椒	担	431	—	—	34	—	431	8	—	904
胡 米	〃	—	—	—	110	—	—	—	—	110
米 布	〃	640	—	—	—	—	—	—	—	640
昆 布	〃	63	—	—	—	—	—	—	—	63
日 本 酒	〃	402	—	—	—	—	—	24	—	426
石 鹼 條	擔	212	—	—	188	—	4	166	540	1,110
同 化 粧 用	海關兩	5,757	—	—	—	—	135	35	—	5,927
曹 達	担	281	—	—	1,038	—	877	15	—	2,211

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	計	合
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	450	—	1,863	—	—	—	2,313
同 (日 本)	〃	3,219	—	—	—	—	31	—	16	—	3,266
綿 縫 絲(絲卷)	哥	941	—	—	—	—	350	—	110	—	1,401
(毛織交織類)											
ユニオン及ボンテ	碼	50	—	—	—	—	—	—	—	—	50
ヨークロース											
(毛 製 品 類)											
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	〃	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2
伯林ウール及毛絲	担	6	—	—	—	—	4	—	—	—	10
(雜質織物類)											
絹 製 品 交 織	斤	597	—	—	—	—	981	161	—	—	1,739
(金 屬 品)											
片	担	4	—	—	—	—	—	—	—	—	4
線	〃	52	—	—	—	—	31	—	—	—	83
銅 板	〃	7	—	—	—	—	21	—	—	—	28
鐵及軟鐵 (新)											
條	担	2,822	—	—	483	—	158	1	—	—	3,464
屑 鐵 及 屑 鐵 線	〃	—	—	—	508	—	105	—	—	—	613
箍	〃	—	—	—	190	—	457	—	21	—	668
條	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ドライバー)	〃	108	—	—	460	—	89	4	—	—	661
片 及 板	〃	589	—	—	—	—	292	—	—	—	881
線	〃	166	—	—	180	—	35	—	—	—	381
鐵 及 軟 鐵(古)	〃	12,854	—	—	4,937	—	723	—	164	—	18,678
鍍 金 鐵 片	〃	788	—	—	—	—	—	—	—	—	788
鉛 塊	〃	19	—	—	50	—	557	—	—	—	626
鋼 鐵	〃	23	—	—	48	—	60	—	—	—	131
葉 鐵	〃	—	—	—	53	—	3,732	—	—	—	3,785
白 銅 片 及 線	〃	2	—	—	—	—	—	—	—	—	2
(雜 貨)											
麻 袋	〃	140,800	—	—	12,000	—	8,000	34,000	—	—	194,800
麥 酒	〃	1,407	—	—	—	—	—	—	—	—	1,407
綿 帶	〃	9,443	—	—	—	—	—	332	—	—	9,775
バ タ ー	〃	—	—	—	—	—	10	—	—	—	10
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥	2,256	—	—	—	—	—	—	—	—	2,256
蠟 燭	担	1	—	—	—	—	749	6	—	—	756
セ メ ソ ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

青島輸出入貿易 (四月中)

—海關貿易統計—

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	10,090	—	—	—	—	2,630	—	—	12,720
シーチング(米品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	〃	—	—	—	—	—	60	1	—	61
同 (日本品)	〃	13,600	—	—	—	—	100	60	—	13,760
晒金巾	〃	3,950	—	—	—	—	3,068	—	—	7,018
綾金巾	〃	—	—	—	—	—	624	—	—	624
雲齋布(米品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	〃	—	—	—	—	—	1,060	—	—	1,060
同 (日本品)	〃	—	—	—	—	—	1,880	—	—	1,880
シエーン(米品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (和蘭品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	〃	—	—	—	—	—	640	—	—	640
同 (日本品)	〃	475	—	—	—	—	1,160	—	—	1,635
天竺布三十二吋	〃	—	—	—	—	—	7,224	—	—	7,224
同 (日本品)	〃	33,470	—	—	—	—	600	—	—	34,070
寒冷紗及綿紗	〃	150	—	—	—	—	4,731	—	—	4,881
平織捺線染色各種	〃	9,005	—	—	—	—	1,037	—	—	10,042
チンズ及平織更紗	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
フリンテット	〃	—	—	—	—	—	14	—	—	14
フソーネチュロー	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿繻子	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線天竺布	〃	—	—	—	—	—	3,090	—	—	3,090
コットンイタリアン及ラッスイング	〃	10,129	—	—	—	—	6,687	337	—	17,153
イーグトブラック	〃	—	—	—	—	—	3,369	—	—	3,369
同平織染色	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 綾	〃	120	—	—	—	—	480	—	—	600
緋金巾及綿天竺布	〃	7,584	—	—	—	—	1,542	—	—	9,126
綿スパニシスト	担	40	—	—	—	—	228	—	—	268
イブ六十四吋	〃	1,957	—	—	—	—	309	—	—	2,266
綿フランネル	〃	972	—	—	—	—	—	—	—	972
同 フランケット	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
手 巾	打	6,628	—	—	—	—	2	—	—	6,630
タ オ ル	〃	—	—	—	—	—	120	—	—	120
同 (日本品)	〃	6,493	—	—	—	—	—	—	—	6,493

(定不序順)

青島實業協會員

在現月六年八正大

會 員		代表者	所 在	會 員	代表者	所 在
岩 城 商 會 支 店	田邊郁太郎	早舟町	江商株式會社 青島支店	一宮 晃	所澤町	
伊藤忠商事株式會社青島支店	淵田 太郎	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張店	副島 高市	河南町	
原田汽船株式會社青島支店	川畑 竹馬	所澤町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	葉櫻町	
日本郵船株式會社青島出張事務所	近澤 武男	葉櫻町	三井物產株式會社 青島出張所	飯塚重五郎	所澤町	
日本綿花株式會社 青島出張所	林 田 勇	北京町	南滿洲鐵道株式會社 埠頭事務所 青島出張所	內 丸 勇	葉櫻町	
東 和 公 司 青 島 支 店	河原熊太郎	北京町	峯 村 洋 行	峯村正三	葉櫻町	
東亞煙草株式會社 青島販賣所	西村 義郎	北京町	合名會社鈴木商店 青島出張所	金子慶治	北京町	
朝 鮮 銀 行 青 島 支 店	常世克己	所澤町	中 村 組 青 島 支 店	原 辰 治	吳淞町	
大倉商事株式會社 青島出張所	石橋藤次郎	早舟町	和 盛 公 司	石本貫一	若葉町	
橫濱正金銀行 青島出張所	太田保一郎	所澤町	東洋鹽業株式會社 青島支店	秋元定恭	大和町	
大連汽船株式會社 青島出張所	松本文三郎	葉櫻町	泰 利 商 會	松崎 翠	早霧町	
大日本麥酒株式會社 青島出張所	三宅 重孝	臺東鎮長通市外四方庄	山 東 興 業 株 式 會 社	空閑知鷺治	早舟町	
內外綿株式會社 青島出張所	佐々木國藏	北京町	吉 澤 洋 行	吉澤干城	市場通	
山 田 出 張 所	山田三平	北京町	青島製粉株式會社支店	百 溪 深	三月月町	
三菱商事株式會社濟南出張所 青島出張所 員	關口 嘉重	市場通	新 利 洋 行 出 張 所	古賀茂登吉	野山町	
茂木合名會社青島出張所	杉浦政芳	葉櫻町	梶 野 洋 行	合田幸一	河南町	
神戸棧橋株式會社 青島派出所	河南 薰	早舟町	福昌公司 青島出張所	千本木正治	若葉町	
山東運輸株式會社 青島支店	神谷武松	葉櫻町	南昌洋行 青島出張所	中村道三	葉櫻町	
日華協信公司 青島支店	藤波茂時	北京町	內外貿易株式會社青島出張所	松田琢海	所澤町	

大正八年六月十八日印刷

大正八年六月二十日發行

大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷人

青島靜岡町十番地吉見正任
青島靜岡町十四番地青島實業協會
青島靜岡町十四番地足立報社
（實費銀參拾錢）
孝